

# 『小金井都市計画道路3・4・11号線』に関する意見交換会（第3回）

## 議事録（確定版）

開催日時：平成31年2月8日（金曜日）19:00～21:55

開催場所：小金井市商工会館

出席者：東京都建設局道路建設部計画課 3名  
東京都北多摩南部建設事務所工事第一課 5名  
小金井市都市整備部都市計画課（オブザーバー） 2名  
小金井市民  
・公募による参加者 36名（7名欠席）  
・自治会代表者 6名（1名欠席）  
計 42名

傍聴者：36名

配布資料：「議事次第」、「意見交換会スライド」、「交通量調査結果説明資料」

なお、配布資料については、公募による参加者及び自治会代表者には郵送にて事前配布。

※発言が重複するなど、音声不明瞭により聞き取れない発言については「……」と記載しています。

### < 議事録 >

発言者	発言内容
今泉課長代理	皆様、こんばんは。定刻となりましたので、ただいまから小金井都市計画道路3・4・11号線に関する意見交換会第3回を開催いたします。
参加者	ちょっと、ちょっと待って下さい。すみません。ちょっと始める前に確認したいんですけども、よろしいですか。
今泉課長代理	恐れ入ります。後ほど時間を設けていますので、意見交換の……
参加者	司会をされるんでしょう。司会について、ちょっと意見があるんですけども。
今泉課長代理	ちょっとお待ち下さい。
参加者	前回の司会が、ちょっとあまりにも強引な進め方だったんですよ。自分たちでも分かると思いますけどね。この会というのは、説明会じゃなくて意見交換会というふうに銘打たれていると思うんで、そういう意味では、東京都と住民の方が対等の立場で意見を交換するというのがスタンスじゃないかと思うんですけども、東京都の方の司会があまりにも一方的にやられているというのは公平じゃないんで、できれば、司会は、今回は、前回2回とも東京都の方がやられていたので、今回については住民代表か、あるいは

発言者	発言内容
今泉課長代理	<p>は傍聴者の中から、もしやられるという方がおられれば、そういう方を選定して頂ければというふうに思うんですけども、いかがでしょうか。</p> <p>(不規則発言あり)</p> <p>傍聴される方には色々な方がいて、議員の方もいるし、市議会議員の方もいるし、都議会議員の方も参加されているので、反対の住民だけじゃなくて、かなり公平な立場で来られている方もいらっしゃると思うんで、そういう議員の方に司会をやって頂くということも可能だと思うので、是非お諮り頂きたいというふうに思います。</p> <p>ちょっとマイクが反響しますので、恐れ入ります、今ご意見等を頂いたんですけども、この会、東京都が主催している意見交換会でございますので、後ほど、私、自己紹介しますが、私のほうで進行を務めさせて頂きたいと思っております。もちろん、先ほどご発言あったとおり、対等の立場として私は務めていきたいと思っておりますので、その辺はご理解頂ければと思います。</p> <p>(不規則発言あり)</p>
参加者	今、今泉さん。
今泉課長代理	今泉です。
参加者	<p>今のやり取りをここから拝見させて頂いております、聞こえないからマイクで音拾ってということに対して、今、今泉さんは、細かくですけど、止めろ、止めろみたいなジェスチャーをしていました。でも、徳差さんはマイクを差し上げてと。もうその時点でおかしくないですか。何ですか、この、やめろ、やめろ。</p>
今泉課長代理	そういうつもりではなくてですね。
参加者	思い切りされていましたが。
今泉課長代理	いえ、そういうことはございませんので。
参加者	<p>見た人は、おかしくない？ っていう、態度そのもの自体がもう思い切り顔に出ているんですけど、どういうことだろうと、ちょっと私は不信感をすごい、もう既にあるんですけど。やっていないと言い切れますでしょうか。多分、多くの方がこっち側から見ていたと思いますけど。徳差さんは、ちゃんとマイク差し上げてっていうジェスチャーをしていました。</p>
徳差専門課長	<p>事業化調整専門課長の徳差です。今、今泉が言ったように、東京都主催ということでやらせて頂いております。対等な立場ということは、それはもちろんですので。前回の司会のやり方というのが、どの段階のところを意味しているのかというのがありますけ</p>

発言者	発言内容
参加者	<p>れども、説明会ですかね。(参加者より「意見交換会だよ」との発言あり)</p> <p>意見交換会、そうですか。そういう形で時間が限られている中において、できるだけ皆さんと意見交換を差し上げるといって形を努めてまいりたいと思いますので、是非よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>なので、なので、なので、今泉さんの今の態度からすると、対等ではないと思ひるので、私も今の(参加者)さんのおっしゃった意見にとてもいいんじゃないかなと思ひているんですけど、その点はいかがですか。</p>
今泉課長代理	<p>今、そういう誤解を招いたことはおわびいたします。申し訳ございません。今、徳差専門課長のほうが申し上げましたとおり、東京都主催の意見交換会でございますので、私も先ほどのような誤解を招かないように進行のほうを努めさせていただきます。まずはそれで進めさせていただきますと思ひますので、よろしく……</p>
参加者	<p>いやいや、それは分かるんですけども、もう1点、対等の立場でって言われましたけれども、この出席者を見ると、都市整備局の方が来られてないんですけども、意見交換会というのは、建設局が、この道路は決まったから、もう動かさないよということで、住民、市民に意見を押しつけようとする場なのか、あるいは、とりあえず意見交換会なる説明会をやったということで、これで丁寧な説明会を小金井ではやったから、あとは事業化に進むんだというための地ならしの一歩にするのか。そうでなければ、意見交換会というのであれば、やっぱり道路計画そのものの是非を議論してほしいというのが過去2回の中で我々が発言してきた内容なんですね。この前のところでも、建設局はそんなことを議論する場ではないというふうなニュアンスのことを言われましたけれども、都市整備局が出てこない限りは、この道路計画についての議論をしても全く意味がない、そういう形になるんでしょう。そうすると、この意見交換会というのは、建設を合理化するための単なる説明会であって、意見を交換する場にはならないんですよ。何で都市整備局をこの意見交換会に呼ばないのか。ここをはっきりさせてもらわないと、これから、この内容で、事前に(配布資料を)頂いたので中身はもう全部分かりますから、今更スライドで説明されてももらっても全く時間の無駄なんですよ。我々としては、何で都市整備局を呼ばないのかということをはっきりさせてほしい。</p> <p>それで、ついでで、ついでですけれども、もう2つほど言わせて頂きますけれども、この会の通知が非常に遅いんですよ。2週間ちょっと前ですよ、参加者に伝わったのも。市のお知らせに載ったのは、2月1日号ですよ。市の広報ね。市の広報は全戸に配布されるので、早ければ4日ぐらい前に着きますけれども、2月1日号では1週間ちょっとしかない。参加したいと思っても、いつあるか分からないときに、わずか1週間のところで、参加したい人に通知が徹底できるはずがないでしょう。聞くところによると、もう12月にはこの会場を押さえてくれということで小金井市に言ったと、12月中旬には会場を押さえたと言っているんですよ。そうすると、何でその時点で開催の通知を出さなかったのか、あるいは市のお知らせに載せなかったのか。今日も何人か欠</p>

発言者	発言内容
	<p>席される方もいるという話を聞いているし、傍聴も、もっと広くあれば、もっとたくさんの方が来られると思うんです。参加をできるだけ少なくしたいと、そういう思いがあったので伝える日時を遅らせたというふうに考えざるを得ないというふうに思うんです。その点がもう1点です。</p> <p>もう1点は、前2回の意見交換会、意見交換会として開催はしたけれども、内容的には意見交換会として成立していないというようなことを発言されましたけれども、改めてこの場で、第1回、第2回の意見交換会なるものは、内容的には成立していませんでしたということを確認して頂けるかどうかを確認したいと。お願いします。</p>
今泉課長代理	<p>今、多岐にわたりましたので、ちょっとお待ち頂けますか。</p>
徳差専門課長	<p>まず1点目の都市整備局が何で来ないかという話なんですけれども、この路線のこの区間は第四次事業化計画において必要性を検証し、優先路線整備に選定した路線でございます。当初、意見交換会の目的ということで皆様に参加の募集をさせて頂いておりますけれども、そこにも記載されているとおり、これは色々な場面で何度も言っている話ではありますけれども、この路線の整備に当たって、環境や景観についての配慮について意見を伺いたいというところで、それを目的にこの意見交換会というのは開催させて頂いております。</p> <p>そういった中で、都市整備局が何で出ないかということについてですけれども、事業化計画の中で優先整備路線ということで選定されている訳で、この区間については、事業を所管している私ども建設局が、これまでの経緯も含めまして住民の皆様説明する責務を担っておりますので、そういったことで意見交換会の主催も私どもですし、その中でしっかりと説明もしていくというところでやってまいりたいと考えている訳でございます。したがって、意見交換会等については、建設局主催で開催するというところでございます……（不規則発言あり）</p>
参加者	<p>説明の責務を負っているというお話をされましたけれども、道路計画そのものについての意見交換をする場では全くないと、もう聞かないということですか。</p>
徳差専門課長	<p>意見交換会の目的そのものが、先ほど何度も言っていますけれども、整備に当たりまして、環境や景観にどう配慮したらいいかなどについて、皆様から意見を頂きたいということをやっている訳でございます。（不規則発言あり）</p>
参加者	<p>この間、去年か、意見交換会、それから説明会がございましたよね。意見交換会が2回、それから説明会がありましたけど、そのときに、この道路は本当に計画が成立しているか、本当にしているのかという話をしたと思うんですよ、どなたかがね。そのとき、私、聞いていましたけど、計画が本当に成立しているかどうかということについて、証明してくれるという話を聞いたんですよ、そのときに。証明を持ってくるという話を聞いたんですけど、そういうこともお答えになるつもりであれば、これは計画の初めから、</p>

発言者	発言内容
徳差専門課長	<p>建設局へ行く前の整備局の話じゃないですか、そういうふうにお答えになるつもりならば。それが出てきていないじゃないですか、今回も。おかしいじゃないですか、それ。話が原点に戻るんじゃないですか。戻るべきでしょう。どうですか。</p> <p>第四次事業化計画で優先整備路線として選定されている訳です。これは事実でございます、その瞬間から所管は私どもに移っている訳です。(不規則発言あり) そうしまして、第四次事業化計画においてのいろんな経緯も含めまして、そこを説明していくという責務を負っているということでございます。(不規則発言あり)</p> <p>すいません、ちょっと聞いて頂けますか。都市計画決定の話がありましたけれども、それについては、前回の説明会、あるいは意見交換会でもご説明してはおりますけれども……</p>
参加者	説明されていないですよ。
徳差専門課長	お答えしているつもりですけども、これは旧法で国が都市計画決定をしております……
参加者	国がっていうのは、どういうことですか。国の法律を持ち出しましたね、今ね。ということが書かれてあるんですか、法律に。
徳差専門課長	告示がされていますので、東京都としましては、当時の法令に基づいて適切に手続きがされたものというふうに認識しているということ……(不規則発言あり) これは繰り返すんですけども、そのような見解です。
参加者	されてないですよ。東京都が、あなた方がバイブルにしているのは、「(東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画))」の冊子を手にとりましょう。これでしょう。これでしょう。そうじゃないですか、バイブルでしょう、あなた方の。これは国の法律に従って作ったんでしょう。そうでしょう。そうじゃないですか。回答、出ないじゃないですか。そうだったら、そうだって言って下さいよ。
徳差専門課長	国の法律ではなくて、それは行政計画です。それは四次計画の冊子ですよ。行政計画です。
参加者	そうですよ。
徳差専門課長	行政計画として第四次事業化計画を策定しております。これまでも、それは第4回ということで、過去、その計画も含めまして4度にわたって事業化計画を策定しているんですけども、その中で必要性の検証をその都度しながら優先整備路線を選定し、都市計画道路の整備をしてきているというのは事実でございます。

発言者	発言内容
参加者	<p>しかしながら、この中身を見ますと、プロセスがあるんですよ。計画を策定するプロセスが。ペースはありますけど、そのペースどおりにやっていないんですよ。先ほど国の法律どおりにやっているという話が聞こえましたけど、これは違うんだという話ですか、そうすると。</p>
徳差専門課長	<p>私が先ほど言ったのは、都市計画決定は国が決定しているということを申した訳です。その上で告示がされておりますので、告示がされているということで、東京都としましては適切に手続きがされたというふうな認識を持っているということでございます。</p>
参加者	<p>しかし、その法律に従ってということですよ。法律に従ってできていますか、これ。この内容、プロセスはそうになってないですよ。これ、分かりますか、僕の言っていることが。</p>
徳差専門課長	<p>今のは、都市計画決定のプロセスを言っているんでしょうか。それは、計画決定された都市計画道路の事業化計画ですから、それをどのように進めていくかというものだというふうに認識しております。</p>
参加者	<p>そういうふうに聞こえませんが、見えませんが、私は。分かりません。</p>
徳差専門課長	<p>性格がですか。</p>
参加者	<p>ええ。どうやって決めたんだか。私、この中、法律を見ますと、案を決める前には、私、地権者の1人ですけど、地権者の意見も聞けと書いてあるんですよ。どうやって聞いたんですか、それ。法律に書いてあるんですよ。どうやって確認したんですか。聞かせて下さいよ。分からないでしょう。法律をよく読んでないからでしょう。</p>
徳差専門課長	<p>それは都市計画法ということですか。</p>
参加者	<p>都市計画法ですよ。都市計画が主じゃないですか。そうじゃないんですか。都は、国ということに対してやらないんですか、そういうスタイルは。都市計画法のものは、国の法律でしょう。それをもとに展開を図っているんですよ、小金井市まで来ているでしょう。違うんですか。思想をもとにして。</p>
徳差専門課長	<p>国の法律というのはちょっと分からないんですけども。国の法律というのは、都市計画法……。</p>
参加者	<p>何で分からない、そんなこと言うの。ええ、ええ、信じられない。そんな馬鹿なことあるのか。</p>

発言者	発言内容
徳差専門課長	都市計画法ですか。
参加者	都市計画法ですよ。第何条に書いてあることですよ。
徳差専門課長	都市計画法で言いますと、この路線の都市計画は旧法で都市計画決定されて、昭和37年ですから、旧法で決定されているという事実があります。
参加者	決定されています。それは、決定されていません。それは前に説明会で問合せがあったでしょう、この中の連中から。この中の1人から問合せがあったでしょう。旧法に基づいて実際に計画が成立したという証があるんですかと聞かれているんじゃないですか。私、覚えていますよ。
徳差専門課長	そのときは、可能な限りお調べしてお示ししますと私は答えています。
参加者	もらってないですよ、その回答。どうしたんですか、それ。今の今、ないです、私、聞いてないです。何ですか、それ。約束が違うじゃない。
徳差専門課長	今日の議題の中で、そういうのも含めまして、これまで頂いた意見に対する回答を改めてという形のところを設けておりました、その中である程度の説明をしようと思っていました。(不規則発言あり) 国の決定の根拠をお調べしますということで、それについては国の公文書館に行きまして閲覧はさせて頂いております。決定文書を……(不規則発言あり)
参加者	それは出てこないんですね。もらってないです。
今泉課長代理	恐れ入ります。実際に国立公文書館に行って閲覧してきました、私が。実際に見てきました。閲覧してきました。図面もついていました。その後、昭和37年7月、官報によって告示されていると。それをもって、先ほどのご回答と重なるんですけども、告示されていて、当時の法令に基づき適切に手続きがされたものと認識していると、先ほど徳差専門課長のほうがお答えした次第です。
参加者	決裁の文書はありました？ 主務大臣の決裁文書がありましたか。主務大臣のサインがありました？ 判子がありました？
今泉課長代理	そこは、確かなかったと思います。
参加者	ないの。旧法には、主務大臣の決定が必要だと書いてあるでしょう。

発言者	発言内容
今泉課長代理	<p>旧法のほうは、確か、ここでお示しする用意はしてないんですけども、別法があつて、それらと照らし合わせて処理されていたと認識しています。それも含めて、先ほど徳差専門課長が認識しているというお答えをさせていただきました。</p>
参加者	<p>その決裁文書では決定されてない訳でしょう。</p>
参加者	<p>そういうことも含めた意見交換は、やっぱり都市整備局に来てもらわないと話にならないですよ。先ほど第四次の優先整備路線に決定されたので、我々のところに来たという話をされましたけれども、その第四次の優先整備路線を聞くに当たって、市民の意見、住民の意見、都民の意見を聞いてないんですよ。唯一とったのがパブコメでしょう。パブコメの意見を聞いて反映させるんだったら、優先整備路線の第四次には入れられなかったんですよ。圧倒的多数の意見が見直せでしょう、反対でしょう。何でそれなのに優先整備路線に決定するなんていうことができるのか、そういうことがおかしいから、都市整備局に来て下さいと。あなた達が書いた第1回目の意見交換の説明会の資料には、3・4・11号線の必要性というのを書いてある訳です、4点。ごちゃごちゃと4つ書いてあるだけだけれども、とてもこんなのは説明に入らないから、ちゃんと説明できる部隊を呼んできてほしいと。その人たちと一緒に説明しましょうと。この前提の説明があまりにもいいかげんで、しかも、説明に対して我々が意見を言っても、それはもう決まったことだから我々は聞かないと、こういう姿勢の方々たちがいるだけの意見交換会というのは、意見交換にはならないよと。だから、都市整備局を呼んでほしいということは何度も言っているんですよ。この建設局の部隊で住民の声を聞いて、やめるという訳にはいかないんでしょうけれどもう1回検討し直しますということは言えるんですか。言えるんだったら、それは我々も意見交換会の場として意見を言いますよ。</p>
徳差専門課長	<p>パブリックコメントのお話が出ましたけれども、まずは、これについては、今日の資料にも載せてございますけれども、(不規則発言あり) その意見を踏まえまして、対応の方針ということで回答をさせて頂いております。現地の地形や自然環境を踏まえて、整備形態等について適切に対応するとともに地元説明を実施するなど事業化に向けて適切に取り組んでいきますというような回答を差し上げている、まずこれが1点ございます…… (不規則発言あり)、少々お待ち頂けますか。</p> <p>そうしまして、この四次計画についてのパブコメについては幅広く都民などの意見を把握し、検討の参考にするために実施するという事で皆様からコメントを頂いている訳なんですけれども、(不規則発言あり) このパブリックコメントは、皆様の率直な意見を頂くものという位置づけであることは確かでございます。丸、バツをつける、そういったような制度ではないということは確かでございます。行政として頂いた意見はしっかりと受けとめて、それをどのようにしていくかということで、この路線については環境や景観、現地の地形や自然環境を踏まえて整備形態等について適切に対応するというような回答をしているということでございます。</p>



発言者	発言内容
今泉課長代理	<p>ちょっとお待ち下さい。順番にご発言頂いているもので、もしよろしければ、手を挙げて。よろしいですか。じゃ、先ほどから挙げている前列の、(参加者)さん、お願いします。</p>
参加者	<p>(参加者)と申します。ちょっと議論が完全にかみ合っていないので、1つだけ単純な質問なんですけれども、都市整備局のほうに、お宅さん達から、住民が、あなた達が来てもらわないと話ができないというふうに言っているよということをきちんとお話されてます？そして、その話がどういうふうな形でやりとりされたか、それを聞かせて下さい。あったとすれば。</p>
徳差専門課長	<p>都市整備局と建設局の役割分担ということで、先ほどの繰り返しになりますけれども、四次事業化計画で位置付けているということで……</p>
参加者	<p>それは分かっていますよ。だから、ちょっといい？</p>
今泉課長代理	<p>あくまでもこの会にということですよ。</p>
参加者	<p>だから、住民たちが、我々、何度も、分かりますよ、あなた達の官僚としての、いわゆる日本の官僚機構としての立場としての限界というのは多分あるんだろうと思えます。だから、それも慮って、我々は、あなた達が答えられない訳だろうから、住民の意見として、あなた達は直接、都市整備局の人達に、お前達、出ろと言う訳にはいかないじゃないですか。だとすると、住民が、3回、ずっとあなた達に出てきて下さいというふうに言っているらしいですよ、寒い中を参加して。そこを1つの突破口にしなければ、次が進めませんということをあなた達が責任を持って都市整備局のほうに、まず言う。そして、都市整備局のほうがどういうふうに言うか、それを正確に我々にまず伝える、これが第一歩だと僕は思いますけれども、いかがでしょうか。</p>
今泉課長代理	<p>その点につきましては、確か私のほうからも、第1回の時ですかね、お答えしているかもしれないんですが、会の様子については、1回目、2回目についても都市整備局については伝えてあります。その上で、建設局から都市整備局に出席を依頼しているということはございません。</p>
参加者	<p>ちょっと待って。状況を説明しましたと言いましたよね。どのように説明したのか、ちょっと具体的に言ってくれる？</p>
今泉課長代理	<p>まずは、終わった直後につきましては、会の速報版になりますけれども、そういった主な意見というのは都市整備局にもご紹介しています。内容とすれば、都市整備局の出席を求めるといのが、まず速報で入れています。その後、例えば議事録、会議録についても都市整備局に、完成版じゃないかもしれないんですが、そういったものはお見せ</p>

発言者	発言内容
参加者	<p>していますけれども、その時点でも、我ら建設局から都市整備局に出席を依頼するということはございません。</p> <p>まず、都市整備局の反応、要するに回答、あなた達、出てくれというふうな意見がありましたよということを言いましたよね。それに対して、当然、都市整備局は答えなければいけませんよ。住民の意見なんだから。それに対して、どういうふうな反応があったかを聞かせて下さい。</p>
今泉課長代理	<p>少々お待ち下さい。都市整備局がどういった見解でいるかというのをご紹介できるものが手元にありましたので、それをご紹介いたします。</p>
徳差専門課長	<p>ちょっと議事メモ的なものですが、読ませて頂きますと、2回行われた意見交換会の内容は、翌日の朝には情報共有していると。皆さんから頂いた意見を承知していると。都市整備局の課長は何という名前なんだということで、澤井という実名が出ているということも承知していると。</p>
参加者	<p>澤井さんは都市整備局の人ですか。</p>
今泉課長代理	<p>これを読み上げると、前後の関係が分からないかもしれないので、私から要約して申し上げますと、都市整備局の街路計画課長にもお話が上がっていて、その見解も含めて申し上げますと、第四次事業化計画の小金井3・4・11号線、ひいては建設局が主催している、この意見交換会については、都市整備局は参加しないということを承っております。(不規則発言あり)</p> <p>じゃ、(参加者)さん、マイクを。</p>
参加者	<p>今回のこの意見交換会の資料を事前に頂いたやつを見ると、交通量調査をやったって書いてあるでしょう。中身を見たら、27年度に比べて交通量が増えているのかと思ったら、ほとんどのところが減っているというデータがずっと出ているんだけど、そもそも何で建設局でこんな交通量調査をやるのか、意味が分からないんですよ。都議会で都市整備局が第四次の計画に当たって交通量調査を改めてやったのかというふうに聞いたら、やったと言っている回答をもらっているんですよ。都市整備局は、第四次の優先整備路線の決定前に交通量調査をやったのに、建設局の方はそのことを知らないで、もう1回改めて交通量調査をやったというふうに我々は思っているんですけども、都市整備局の方が同席していれば、実はこうなんだということも言えたんだろうと思うんですけども、そういう意味では、都市整備局と建設局が必ずしも一心同体ではない訳で、役割が違うから。実態が共有されていない場面が非常に多い。そういう意味で、建設局に色々話を持って行って我々がしても、中身が通じない、こういうこともあり得る1つの例じゃないかと思っているんですけども、そういう意味では、都市整備局が出てこないと話にならない場面というのが非常に多いんですよ。ましてや、そもそもこの</p>

発言者	発言内容
	<p>計画の必要性について議論をするときに、その議論に建設局は全く乗っかってこないというふうな立場になっているので、これでは意味がない。そういうふうに我々は考えているので、改めて呼んできて頂きたい。最後のほうを見ると、この3回目の意見交換会なるものがあったら、あとはオープンハウスでやると。オープンハウスで意見交換、文字どおり、今でも意見交換じゃないんだけど、オープンハウスになったら一方的に会場をどこか設定して、皆さん、来て下さいと。来たら、こんな道路にしますからご説明しますと、疑問があれば言って下さいと。そんなことでオープンハウスを何回かやって、それでもって非常に丁寧な説明をしましたということで事業化を強行しようとする、そんな魂胆がこの資料に見えている。だから、我々はこんな資料の説明じゃなくて、そもそも何で都市整備局が来ないのか、我々の意見を聞かないのか、そのことをはっきりさせてほしいというふうに言っているんですよ。あくまでも都市整備局、来るように言ってもらいたいですね。そういう意見交換会をやってもらいたい。</p>
今泉課長代理	<p>大きく4つあったと思うんですけど、まず第四次事業化計画において、都市整備局において交通量調査をやられたということがまず1点ありましたけれども、第四次事業化計画の策定に当たっては、都市整備局で行ったのは、将来の交通量推計でございます。にも関わらず、建設局が今回、交通量調査をなぜやったのかというところが2点目ありました。それについては、恐れ入りますけれども、今回の交通量調査の目的なるものを、手短にしますので、ご説明させて下さい。</p>
参加者	<p>整備局、信用ならないです。整備局のデータは信用ならない。</p>
今泉課長代理	<p>将来の交通量推計です。</p>
参加者	<p>現況を知らずに、どうして将来を推計できるんですか。</p>
今泉課長代理	<p>申し訳ありません、今、(参加者)さんのご意見、ご質問についてお答えしたいと思います。</p>
梅津課長	<p>今回、交通量調査をさせて頂いた理由なんですけれども、昨年、説明会をさせて頂きまして……</p>
参加者	<p>立ってやって下さい。</p>
梅津課長	<p>失礼いたしました。昨年3月、説明会をさせて頂きまして、センサスのデータをうちのほうではスライドで示させて頂いて、皆さん、ご存じですけど。かなり広域的な調査でしたので、細かな地域の実情が分からない。それは、そんな交通量調査もしていないでいいのかというようなご指摘も受けていたと。今回、そういった地域のところまで細かく調査をさせて頂きましたので、是非そこにつきましてご報告をさせて頂きたいと、</p>

発言者	発言内容
	<p>今日臨んでおります。</p> <p>今、センサスの話もありましたし、あと、四次の事業化計画策定のときの調査というものもありましたが、ここの小金井の地域の本当の実情、細かな点をとってやっている調査とは全く別な、どちらかという、もうちょっと大きな点の取り方での調査となっております。今回は、センサスでは、調査していない細かな箇所部分をさせて頂いたことに加えて、抜け道の調査なども併せてさせて頂いています。既にご覧になったということで、必要ないとおっしゃる方はいらっしゃるかもしれませんが、細かい点も分かりやすくご説明するように、今日、お手元にも配布をさせて頂いていますので、是非手短にご説明したいと思っておりますので、聞いて頂ければと思っております。</p>
参加者	<p>後で時間があればいいですから。(不規則発言あり)</p>
今泉課長代理	<p>ちょっとお待ち下さい。まず、先に(参加者)さんの、オープンハウスなるもの云々というのがございました。それについて、ちょっとお話をさせて下さい。</p>
徳差専門課長	<p>事前に配布した資料にも載せさせて頂いていますので、もう既に見た方もいらっしゃるかもしれないんですけども……</p>
参加者	<p>ちょっと待って下さい。それって、我々、今、質問した、回答が出てないのに先進めないで下さい。</p>
徳差専門課長	<p>今、オープンハウスについてのご質問が出たので、それについてお話しします。</p>
参加者	<p>質問した訳じゃない。質問じゃない。質問じゃなくて、そういうことで誤魔化すんでしょうねというだけの感想ですから。</p>
参加者	<p>オープンハウスで意見交換会、やめるということでしょう。</p>
徳差専門課長	<p>まず、ちょっと聞いて下さい。昨年度、意見交換会、それから説明会というところを開催させて頂いたんですけども、意見を伺うことができなかった、参加者の方が多数いたということがあります。また、意見交換会の目的、私どもしております、整備に当たって環境や景観への配慮などについて意見を頂きたいということで意見交換会を実施していた訳ですけども、私どもが目的とする意見交換ができなかったという、これは事実でございます。(不規則発言あり) そうしまして、このため、今後は、できるだけより多くの方々と個別にお話ができるし、また、さまざまな意見を出して頂けるし、私どもとしても丁寧に伺うことが可能だということで、オープンハウス型の説明会に変更していきたいということでございます。</p>
参加者	<p>それでちょっと……。</p>

発言者	発言内容
<p>今泉課長代理</p> <p>参加者</p>	<p>ちょっとお待ち下さい。それでは、1回ここでご発言。先ほど、恐れ入ります、(参加者)さん、都市整備局が信用できないというようなご発言があって、改めて、マイクを。</p> <p>(参加者)といいます。今の道路の、改めて交通調査をやりましたということで、今、その交通調査のことについての話なのでお話ししたいと思うんですけど、梅津さんのおっしゃったのは、地元の、もっと密着した形のデータをとったんだよという話がありました。優先決定するときというのは、地元の交通調査をしないでマクロだけ見てやっているんですか。我々は地元なんで、我々の生活にとって道路が必要かどうかとか、そういう調査をして決められたもんだというふうに思っている訳ですよ。ところが、そうじゃないよというのであれば、やっぱり決めた整備局が出てきて、その辺の経緯を説明しなきゃ駄目ですよ。建設局で交通量調査をされたということは、整備局の調査では足りないという話ですよ。そういうことでしょうか。だから、それがさっき不信なのかと言った一部なんです。</p> <p>もう1つだけ。意見交換会は、過去2回、成立してないですよ、実質的には。そういうことは、皆さん、ご存じのとおりだと思うんですけど、その原因は、整備局が参加していないということ1点なんです。整備局が参加してくれば議論がかみ合う。もしも意見交換会を十分にやって、大成功に終わりましたというふうに知事に報告したいとすれば、整備局を呼んできて、堂々と我々と一緒に議論してほしいんですよ。</p> <p>徳差さんは、自分は説明する責務を負っているとおっしゃいますけれども、この頂いた資料を見ると、もう説明になっていないですよ。もう話にならん。さっきの、例えばですよ、例えば。このパブコメのところの話、さっき言葉でもおっしゃいました。ここに書いてありますけれども。</p>
<p>今泉課長代理</p> <p>参加者</p>	<p>(参加者)さん、ちょっと。</p> <p>もうすぐ終わる。現地の地形とか環境とかいうことだけ、ここで取り上げていますね。パブコメって、もっと広範囲だったでしょう。必要性について疑問がいっぱいあったはずなんです。そういうものについては、あなたのこの回答には一言も触れずに、自分の都合のいいところだけ取り出して、そして回答だと。それを押しつけるというのはおかしいじゃないですか。長くなりますので、また。</p>
<p>今泉課長代理</p>	<p>ちょっと前段で私のほうから説明しますと、第四次事業化計画で交通量調査、今回もそうですけれども、交通量調査、よく交差点の中で人が座ってする調査を、今回、第四次事業化計画の策定過程において実施した、これは交通量推計、将来推計です。その推計について手短かに触れさせてもらいますと、将来推計については広く一般的に用いられた予測手法を活用しております。将来の人口配置、それから経済の動向などを考慮して推計されているのが第四次事業化計画のときに行った交通量推計です。</p> <p>次に、ちょっと多岐にわたってましたので徳差専門課長のほうから別途、地元の交</p>

発言者	発言内容
徳差専門課長	<p>通量をどうされたかということについてお話をさせていただきます。</p> <p>四次計画においては、この路線は幾つかの検証項目の中で、将来道路ネットワークの検証を行っておりまして、その中で、15項目あるんですけども、3項目に該当するというので、必要性をまずは確認している訳なんですけれども、その必要性の1つに交通処理機能の確保という項目がございます。これは何かということでございますと、都市計画道路の最低限の規格としまして、2車線道路を想定している訳です。2車線道路の担うべき交通量というのが、おおむね1日当たり1万2,000台という形になる訳なんですけれども、都市計画道路として交通処理機能を確保するという中において、1日の交通容量の1万2,000台の約半分の6,000台、これを設定しまして、将来交通量推計をしまして、将来の交通量が6,000台以上になるという都市計画道路について、今後も必要であるという評価をしている訳なんです。小金井のこの区間については、第四次事業化計画の中で推計をしている訳なんですけれども、1日当たり1万3,000台という結果が出ております。このことから、この路線については、まずは、交通処理機能の確保というところにおいては必要だという判断がされている訳で、また、こういった交通処理機能が確保されることで、例えば交通の転換などによって周辺の渋滞緩和とか、あるいは生活道路の利用している通過交通が転換するだとか、そういったことも期待されるということで、必要性の確認をされているというところでございます。</p>
今泉課長代理	<p>先ほどもう1点、過去の、前回、前々回も含めて、この意見交換会が成立しているのか、していないかということを変更してお話がありましたので、そのことについてもまた徳差専門課長のほうからお答えさせていただきます。</p>
徳差専門課長	<p>意見交換会は、開催はさせていただきましたけれども、私どもが目的としております環境関係の意見聴取、あるいは意見交換ができなかったということで、成立はしていないという、その目的においては、成立はされなかったという、そういうことは以前からお答えしている訳でございますけれども、そういったことでございます。</p>
今泉課長代理	<p>今度、窓側のブロックの（参加者）さん、どうぞ。マイクをお願いします。</p>
参加者	<p>最初に隣にいる（参加者）さんが幾つか質問をしました中で、お答え、ちょっと頂いていない項目があるんですね。今、交通量調査のほうに入っちゃっているけれども、もう一度、ちょっと元に戻って、私が一番、今日の説明会でものすごく腹が立ったのは、やっぱり通知が遅かった。このことについて、どうやら市役所のほうは、12月には会場押さえをやっておられたということも正式に伺っておりますので、なぜ1月の中旬とこののを、そのころのお知らせにしたのかという。私、すごく大げさなことを言うと、科学的根拠を教えてください。やっぱり私もこのこと、納得できないんです。人が集まらないほうがいいのか、そんな下世話な想像はあまりしたくないと思っておりますので、納得のいく回答を課長から頂きたいと思っております。</p>

発言者	発言内容
今泉課長代理	先ほど日にちが決まる通知までの経緯について、確かに（参加者）さんのお話の中から漏れておりましたので、改めてお話させていただきます。
徳差専門課長	今回の意見交換会の開催に向けた流れということで、まず平成30年、昨年12月ですけれども、12月18日に東京都から市のほうへ会議室の確保の依頼をさせて頂いております。この点はということでございますけれども。それから、昨年ですね、その次の日に商工会館会議室を予約されたという事実がまずあります。それは12月です。12月18日と12月19日の流れです。そうしまして、年が明けまして、今年ですね、平成31年1月の15日ですけれども、都から市にそこでお願ひしますという報告をさせて頂いているということがまずございます。そうしまして、それが1月15日。1月21日、それから約1週間後ということですが、東京都から参加対象者へ開催通知を送付したと、こういう流れになってございます。したがって、会場の開催場所の続きと申しますか、そういったところに時間を要したということで、そういう形で通知がされたということで、今後は、もう少し早くできるようには努力したいと思っておりますけれども、そういった経緯がございます。（不規則発言あり）
参加者	第4回目、やるんですか？第4回目やるの？今後って言いましたけれども。第4回目はいつやるんですか？
徳差専門課長	オープンハウスです。
参加者	はい。後ろも当てて下さい。
今泉課長代理	それでは、通路側、（参加者）さんでよろしかったですね。マイクをお願いします。
参加者	後ろの席も当てて頂いて、ありがとうございます。今日は、とても寒い中、傍聴の方もたくさん集まって頂いて、ありがとうございます。本当に今日は急に寒くなりまして、もうよっぽど、来るのはやめたいと思ったんですけども、やはり来ない訳にはいかないと行って参りました。私達、意見交換をしたくない訳でもなくて、皆さんと、東京都の方たちとも、とても話をしたいです。したいんですけども、やはり昨年のことを思い起こしてみましても、あまりにも上から目線で話をされて、本当に一方的で、何かを言っても、すぐその場ではね返されるということの繰り返しで、こんなでは何も言えない、意見交換会じゃないという、すごく辛い思いで1年間過ごしてきました。届いたこの資料を読みましたら、意見交換ができなかったと聞いてあって、本当に悲しくなりました。本当に私たち、そんなつもりじゃなくて、何のためにここに集まって来ているのか、この寒い中。どうしてこんなふうに私たちは踏みにじられなきゃいけないのか、本当に辛いです。私たちは意見交換がしたくないんじゃないかと、皆さんともっと本当はお話ししたいです。景観や環境に配慮したお話もしたいです。ただ、その話をしたら、道

発言者	発言内容
	<p>路は要らないんですよねという結論にしか、私たち、ならないんですけど、それでもやっぱり本当はお話したいです。ですから、この意見交換会を3回で打ち切る、オープンハウスに切り替えるというのは、やっぱりどうにも納得もできないし、おかしいなと思っています。</p> <p>この間、この意見交換会に関して、すごくキーワードになっているのは、丁寧という言葉と意見交換会という言葉だと思うんですね。丁寧にやるんだったら、やっぱりまだまだ丁寧にやらないと駄目だと思います。3回ぐらいで丁寧にやったという話にはならないし、今の、この上から全部説明するだけの意見交換会で丁寧にやったというふうに都知事には絶対に説明できないんじゃないか、そういうふうに思います。最初に、このやり方ではという、上から目線すぎたという話をしたときに、それ、説明会の話ですかとおっしゃいましたよね。だから、意見交換会が、私たちがとっても納得できないやり方で進められているということにも、あんまりお気付きになっていないのかなというふうに、さっき感じました。</p> <p>それと、意見交換というのは、やっぱり交換しないといけないので、全く交換にはなっていないので、提案なんですけれども、先ほど司会を変えるということは無理ということでしたので、意見交換の時間にグループセッションみたいなことをやって、班を幾つか作って、その中に東京都の方たちに入って頂いて、そのグループ、グループで話し合っ、景観や環境に配慮したらどういうふうに考えるのかということとか、そういう話し合いをして、各班のリーダーが、私達の班はこういう話をしましたという話を立って発言してもらって、その意見をまた集約して頂くという、そういう本当に平たい場で意見交換を東京都の方達とできたらいいなというふうに思います。よろしくお願ひします。</p>
徳差専門課長	<p>それについては、ご意見として伺うところではありますけれども、ただ、整備に当たって、環境や景観への配慮などについて意見交換ができなかったということと、それから、先ほども申しましたとおり、意見交換会あるいは説明会で意見を頂くことができなかった参加者の方も多数いたということもありますので、どのようにしたら、そういう形でより多くの人、市民から意見を頂けるかということを考えまして、オープンハウス型の説明会という形に変えていきたいというふうに思っております。でオープンハウス……（不規則発言あり）</p>
今泉課長代理	<p>恐れ入ります。傍聴の方はご発言をお控え頂きます。（参加者）さんのお話を聞いて、最後にグループセッションというお話があったので、おそらく我々のイメージだと、テーブルがあって、その周りを囲んで、都の側の職員がいて、市民の皆さんがいるようなイメージかなと思うんですけども、ワークショップという言葉、聞いたことありますでしょうか。まさにそれが私が今お話しした、テーブルが幾つかあったりして、都の職員がいて、市民の皆さんがいらっしゃるとい、そんなイメージなんですけれども、オープンハウス型の説明会という言葉が今回使っていますけれども、今、都が考えているオープンハウスというのがちょっとイメージが伝わってらえてないし、説明もできて</p>



発言者	発言内容
参加者	<p>ないんですけども、そこを1回、手短にしますので、お話を聞いて頂けないでしょうか。お願いします。(不規則発言あり)</p> <p>じゃあ、今度、真ん中のテーブルに移ります。(参加者)さん。今、マイクを。</p> <p>私は、今までの意見の中で、一番私たち、いわゆる市民と東京都と意見が合わないというのは、なぜ、この整備路線ということで決まったのかというところが、みんな市民は納得いかないというところが一番のところなんです。なぜ急にこんな、どこかから降って湧いたようなことが出てきたのか。それに対するちゃんとした説明がない中で物事の進め方について、色々意見が出ているんですね。今来られている方は既にそれが決まったものという上での意見の交換なんです。私たちはその前に、なぜそういうような計画がされて決定されたのかということで一番納得できないということですから、そこで意見交換が今までも成立できてないということ。それは、やはり整備局がそこを決定している訳ですから、そここのところがどうしてそういう決定の仕方をしたのかということをごちらのほうに示していただかなければ私たちは納得できないし、今日、そういうところで、私も整備路線に関係しているような人達とも話したりなんかしたんですけども、37年に決定したということですから、みんな、もう既にある程度の年齢になって、意見を持っていても来れない状況なんです。そうですね。</p> <p>そういう中で、やはりこういうことに納得できないし、私たちはここで、ずっと住んで、そこで一生を終わらせたいという思いを持って暮らしている訳なんです。ですから、本当に決定したところが来ていただかなければ全然意見がかみ合わないと思うので、そういう点で整備局の人に私は出て頂きたいと思っております。</p>
今泉課長代理	<p>ちょっとお待ち下さい。今、(参加者)さんのご意見、ご質問について答える場面ですので、よろしく申し上げます。</p>
徳差専門課長	<p>昭和37年の決定で、ほぼ50年以上経っていることについては申し訳ないとは思っているんですけども、ただ、その間、東京都としましては、過去3回、この四次計画も含めると4回ですけども、過去4回にわたりまして事業化計画を策定しております。事業化計画を策定しまして、都市計画道路の計画的・効率的な整備に取り組んできている訳でして、今回、大分お待たせしたという形にはなるんですけども、事業化計画で優先整備路線に今回、28年度に決定したということで、大変長い間、そういったことで申し訳なかったと思っているんですけども、(不規則発言あり)いわゆる優先整備路線の中で、四次事業化計画の中で、この路線については必要性の検証を十分しまして、優先整備に選定しているということでございますので、この路線については、私どもとしましては十分必要性があると、整備の必要性があるということで考えているところでございます。(不規則発言あり)</p>
今泉課長代理	<p>ちょっとお待ち下さい。今、順番。もう一度手を挙げて頂けますか。恐縮です。じゃ、先ほど、ちょっと発言を、窓側の(参加者)さん、(参加者)さんのほうです。</p>

発言者	発言内容
参加者	<p>回答が不透明なままオープンハウスの話になって、またかよと思っているんだけど、正直言うと、ここに選ばれた我々というのは、意見交換をするために選ばれたんですよね。ところが、今度、オープンハウスなんかにするということは、我々は信用されてないし、話し合いにならないということなんですか。話がだんだん、だんだん、ここで話し合いにならないからオープンハウスで別な形にして、別の人の意見を求めちゃいますよ、あなた達は要りませんよって私には聞こえるんだけど、どうなんですか。</p>
徳差専門課長	<p>まず、参加を申し込んで頂いて、この場において頂いているということでございまして、参加の申し込みに当たりましては、あくまでも整備に当たって、環境や景観についてどう配慮するかについてご意見を頂きたいという目的で、この意見交換会は開催させて頂いているところでございます。過去2回、説明会も含めまして意見交換をさせて頂いておりますけれども、私どもが目的としている意見交換ができなかったと。これは先ほど申しましたとおり、事実でございます。</p> <p>それに加えて、やはりこの意見交換会、あるいは、昨年度やった説明会もそうなんですけれども、意見を言いたいという方も多数いらしたということで、私どもとしましては、先ほども申したんですけれども、より多くの市民の意見も聞きたいということで、そういう形で、何も皆様の意見を聞かないという話ではないんですけれども、より多くの方の意見も頂きたいということで、オープンハウス型の説明会を考えております。そういう形に変えていきたいと考えておるんですけれども、まず、オープンハウス型の説明会がどういう話かということなんですけれども……（不規則発言あり）</p>
今泉課長代理	<p>ちょっと1回。次、ご発言の方。今、こっちに来ましたので、真ん中のブロック、真ん中の方。（参加者）さん、よろしいですか。お願いします。</p>
参加者	<p>3月25日の説明会の議事録、東京都が作った議事録、その13ページに書いてある議事録です。それと今日のスライド資料の中にある26ページ、小金井3・4・11号線は国が都市計画決定し告示されておると、当時の法令に基づいて適切に手続されていると認識していますということが書いてあるんですけれども、3月25日のときも、3・4・11は昭和37年7月、計画決定され、当時の法律、旧都市計画法で主務大臣の決裁と内閣の認可が必要であるが、いずれもされてないと。決定が違法で、合法的に成立してないと。都の答弁は、都市計画決定については、昭和37年7月26日の官報に決定されているということをご徳差専門課長と今泉課長代理、そのときの答弁をされていません。その書類を出してくれということで話をしたら、今、その書類を持ってないと。旧法の国で決定したもので告知しており、適切に処理されているものと考えておりますと。次回の意見交換会にその書類を出しますという回答をしていますよね。覚えていますか？議事録ご覧になりましたか？</p>
徳差専門課長	<p>承知しております。</p>

発言者	発言内容
参加者	<p>出して下さい、それなら。だから、我々を馬鹿にしているでしょ。言い逃れだけで、その場しのぎで。いいかげんな回答やってほしくないですよ。我々はそこに住んでいる、生活がかかっているんですよ。あなた方、いいかげんな態度だったら許せないですよ。議事録を流して、それで終わりと思ってるの、ちゃいます？ 答えて下さい。今日、何で出ないんですか。</p>
今泉課長代理	<p>今、議事録、手持ちではございません。確認させて下さい。今、議事録を確認しますので、大変申し訳ございませんが、後ほど、またきちっとお話しさせてもらえればと思いますので。</p> <p>次、ご発言される方。じゃ、まだご発言されてない方もいらっしゃると思いますので、先ほど、後ろのほうに行きましたので、前の真ん中のブロックの（参加者）さんでよろしいですか。マイク、お願いします。</p>
参加者	<p>今回、事前に資料をお送り頂いたので、できるだけ私も丁寧に見たつもりです。それで、その中で、これまで頂いた主な意見への回答というところが何項目か出ておりました、例えば、(スライド資料の) 21というところで、当該区間についてはということで、優先整備路線に選定しました。このため、当該区間の都市計画の廃止や優先整備路線から除外することは考えていませんという、これの主語がわかんないんですよ。誰がそう考えていないのか。これは建設局の資料ですから、建設局長なのか、あるいは、この優先整備路線と選定した都市整備局の局長なのか、あるいは東京都知事なのか、そこが僕はものすごく大事だと思うんですね。そうすると、その人と僕らは話さなきゃいけないと思うんですよ。そうしないと、建設課長がこれを決めたというんなら課長とじっくり話したいと思えますけれども、かみ合わないですよ。だから、僕は、この主語は誰なのかということをお聞きしたい。その後で、また意見を続けて言わせて頂ければと思います。</p>
徳差専門課長	<p>誰が決めたかというお話ですけれども、東京都という組織が決めてございます。</p>
今泉課長代理	<p>補足させていただきますと、やはり我々は、これは何度も申し上げていますので、廃止とか見直しというのは考えてないというところは、もう優先整備路線に決められた段階で、それ自体がもう優先的に整備するものということになっております。イコール、先ほどの（参加者）さんからのお話のとおり、廃止や見直しは決定してないということで、組織として決めてございます。(不規則発言あり)</p> <p>第四次事業化計画を策定したとき、例えば、組織的にと申し上げましたけれども、先ほど、初めのほうですかね、行政計画であるというお話もあったかと思うんですが、内部の決裁の品物自体は、今、手持ちではございませんが、あったと。その公表版が、こちらの、先ほどの黒い表紙のもの（「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」を提示し）をまとめたものになっています。(不規則発言あり)</p>

発言者	発言内容
参加者	<p>ちょっとお待ち下さい。先ほどの話、もうちょっと時間を下さい。決定された決裁文書というのは都の中でございます。第四次事業化計画の策定における……</p> <p>それは第1回の意見交換会で私が質問しました。それに対して回答なかったんだよね。都知事の証明がありますよ。都知事は、大臣の決裁はないと証明を書いています。わかっていますか。</p>
今泉課長代理	<p>私が今お答えしたのは、これを（「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」を提示し）策定する……</p>
参加者	<p>それ自体、成立してないんです。（不規則発言あり）</p>
今泉課長代理	<p>おそらく今……</p>
参加者	<p>旧都市計画法に違反しているんですよ。そのところ、わかっていますか。</p>
今泉課長代理	<p>都市計画のお話からということですよ。</p>
参加者	<p>だから、最も原点であるべき、皆さんが今言っている、都市計画が成立する根拠は何かといったら旧都市計画法でしょ。そこに成立する条件が書かれているんだけど、それが満たされていないんですよ。そのことは、小池都知事の証明した文書も私は受け取っています。そのことを承知していたら、皆さんはここで、まず、この都市計画道路自体が成立してないんだと、合法的ではないんだということを認めて、そこから出発しなきゃいけないんですよ。でなければ、皆さんがやっているのは、行政の背任行為であり越権行為なんですよ。まさにそこに座っている建設局の皆さんが、その違法な行政行為をやろうとすれば、行政の背任行為として訴えられる可能性があるんです。そこ、わかっていますか。</p>
今泉課長代理	<p>その辺、もし法律に瑕疵がある、手続に瑕疵があるということに基づいてされていれば……（不規則発言あり）万が一、それに伴う処分を受けるのであれば、それはもちろん覚悟してやっております。（不規則発言あり）</p> <p>それと、もう一つございますので。</p>
徳差専門課長	<p>補足しまして、繰り返しになりますけれども、旧法の都市計画決定、これが小金井3・4・11号線は、先ほどの繰り返しですけれども、国が都市計画決定し、告示されているということで、当時の法令に基づき適切に手続がされていると東京都は認識してございます。これはもう繰り返しの答弁、話になりますけれども、そういう形です。</p>
参加者	<p>私、これ、もらいましたよ。今、（参加者）さんが証明した、もらっていません。確認</p>

発言者	発言内容
	<p>してない、できないって言っているんですよ。こんな書類はないって言ったんですよ、はっきり。</p>
参加者	<p>いやいや、それよりも、そちらで公文書館へ行って調べたら、なかったって、今、白状しましたよね。</p>
今泉課長代理	<p>そこは私が見てきました。国の決裁文書というのは閲覧してきました。</p>
参加者	<p>いや、それは国の決裁文書じゃなくて、建設省の省内の稟議書にすぎません。</p>
今泉課長代理	<p>ただ、私と（参加者）さんは同じものを見ているんだと思います。</p>
参加者	<p>私も確認しております。それから、都庁にも確認しております。都庁にも、その書類の写しは来ておりませんという答えを小池都知事からもらっています。</p>
今泉課長代理	<p>今、（参加者）さんの、第1回目するときにも伺った内容だと思うんですけども、都にあるかないというのは、おそらく昭和37年7月の官報の告示に、もし間違っていたら申し訳ございません、縦覧って書いてあったと思います。その縦覧されたものが都にあるのかということで、それがなしということに。</p>
参加者	<p>いやいや、そうではなくて、旧都市計画法の第3条には、都市計画地方審議会の議を経て、主務大臣がこれを決定し、そして、内閣の認可を得るべしという規定になっているんですよ。ところが、建設省がつくった省内の書類はあるんです。しかし、そこには大臣の押印もなければ署名もない、次官も署名してない。要するに、建設省の省内の稟議書にすぎないものがある。それが地方審議会で議論をされたものではありません。しかし、その後、大臣の決定という手続を経ていないんです。もちろん閣議を経ていません。大臣の決定をした後に、この件について閣議で決定して下さいという要請文を出さなきゃいけないんです、主務大臣は。それをやってないんです。</p> <p>したがって、内閣の認可をしたという書類もありません。ですから、これは公文書館にないのが当然なんです。やっていけば、その写しは都庁へも来ますけれども、都庁にもそれは来てないんです。なぜなら、大臣の決定と内閣の認可を行ってないから。だから、それを開示しろという開示請求を出したら、都知事名で、小池都知事名ですよ、小池さんになったばかりの状態で、そういう書類は受け取っておりませんという証明をしてくれました。つまり、この都市計画道路は合法的に成立してないということを小池さんは認めたんですよ。</p>
今泉課長代理	<p>同じものを見ているところでございますので、私も同じものを閲覧しています。ただ、そのときの主務大臣の決定、内閣の認可だと思うんですけども、それがなぜ省略されているのかというのは我々は知り得ないところでもございますので。ただ、官報に告示</p>

発言者	発言内容
参加者	<p>されていることをもって、先ほどから申し上げて、繰り返しのようになってしまいうんですけれども、当時の法令に基づき適切に手続がなされたものと東京都では認識しています。</p> <p>それは合法ではないんですよ。</p>
今泉課長代理	<p>ちょっとお待ち下さい。</p>
参加者	<p>今のは裁判でずっと争われているけれども、裁判官もその件については、ほかの道路で何度も、大臣の決定を得てないし、内閣の認可を得てないので、これは違法性があるという判決が出ているんですよ。「ただし」というただし書きをつけて、その後、その道路については変更決定をしたので、これは認められますねという、そんなへんてこな解釈なんですよけれども、そもそもの37年決定については、それは決定としては、主務大臣の決定も内閣の認可も得てないので合法的ではないというのが裁判所の見解なんですね。そういうことが出ているので、これについて正しいという判断を建設局がされるのはおかしいので、やっぱりもともとやった都市整備局の方に来てもらって、都市整備局の方と意見交換をしないと話にならないだろうと思うんですね。</p> <p>そういう意味で、やっぱりいろんな問題が、建設局のマターではないことが多過ぎるんですよ。都市計画法で言えば、第6条にこういうことを書いているんですよ。都市計画区域については、おおむね5年ごとに基礎調査をしなければならない。人口規模や産業規模やいろんなことを、交通量も含めて。やっぱり何でこんなことを書いているかという、昔、決定したからといって、じゃ、それでやっていいという話には、今の、これ、現行の都市計画法ですよ。現行の都市計画法は、昔、決定したら、もう何もしないでやっていいなんていう話はないんですよ。5年ごとにきちっと基礎調査をして、それを発表して、それで本当に必要性があるかどうか。これをしなきゃならない。5年ごとの小金井のこの2つの路線、3・4・11でもいいですけど、これについてやって、それをどっかに発表しているんですか。そういう意味では、そんなことについての、どういうふうになっているのかということもやっぱり法律に基づいてやるのが行政ですから、そういうこともきちっと法律の条文を見て、やるかどうかというのは都市整備局なんで、都市整備局が来ないで、建設局がいろいろ、ああだ、こうだ言っても始まらない。</p> <p>したがって、これについては、今後は決定したのを建設局が決定をなしにする権限はないんでしょうけれども、やらないという権限はいくらでもあるだろうと思うんですね。もう第四次の10年間は棚に上げておくと、こういうふうにして頂く、そういう決定はできると思うんですね。都内で300件以上あるんでしょ？第四次の路線ありますけれども、300件全部できるとは建設局でも思ってないと思うんですね。うまくやったとしても3分の2。今、オリンピックその他で財政が大変ですから、半分ぐらいやりや、もう上出来だと思う。何も反対の多いところ、やる必要ないんで、この3・4・11はもう完全に棚上げと、こういうふうにする決定は建設局はできるんで、それについての棚上げにするかしないかということでの議論をさせて頂くんなら、我々は大いにやらせて頂きたいと思います。</p>

発言者	発言内容
徳差専門課長	<p>はっきり申しまして、棚上げにする議論はするつもりもございませんし、できません。これは、優先整備路線に選定されている訳ですから、この10年を目標にしていきたいと考えておりました、ただ、その前段として、やはり環境、景観に配慮した市民の皆様意見を踏まえながら進めていきたいと考えておる訳で、そういう目的での意見交換もさせて頂いている訳です。</p>
今泉課長代理	<p>ちょっと（参加者）さん、お待ち頂けますか。  それでは、真ん中のブロックで、こちらに移って、真ん中の（参加者）さん、よろしいですか。マイクをお願いします。</p>
参加者	<p>（参加者）と申します。意見交換会が成立しなかったという見解ということですね。私も意見交換、全然できていないと思います。私が主催者だったら、どうやったらみんなの意見を交換することができるだろうって考えると思います。意見交換会の運営を見直して下さい。これでオープンハウスに移行する。オープンハウス、私も行きました。優先整備路線に決定する前です。私たち行って、意見をたくさん言いました。あんなものは何の意味もありません。十分わかっています。意見交換会をこれで打ち切り、もう今、8時半です。もうやらないって言っています。どう思いますか、皆さん。いいんですか、これで。私たち、もっと意見交換したいです。私たちのこの住んでいるはけ、野川、私たちの住んでいるこの地域、この地域の将来について、私たちは当事者として、皆さんとちゃんと話し合いたいです。そういう意見交換会を、運営を見直して、一緒に考えて頂けませんか。それを約束してもらえないなら、私は今日は帰れません。</p> <p>もう一つ、環境や景観に配慮する、何度もおっしゃっていますが、じゃ、環境局の人に相談したんでしょうか。公園の管理をなさっている現場の方に、貴重な動植物、生き物、そういうものへの影響、そういうことを直接相談したんですか。答えて下さい。</p>
今泉課長代理	<p>大きく3点あったと思います。まず、運営を見直すということでした。おそらく、この会の大半の方かもしれないんですけども、運営の見直しというのは、計画の是非を問えるような意見交換、それも目的に入れるような意見交換ではないかと思われまます。そこについては、環境や景観への配慮などについて、やはり市民の皆さんと意見交換をさせて頂きたいという目標であります。これは今も変わりません。</p> <p>次のオープンハウスにおきましては、まだ具体的な内容はお示しできないところなんですけれども、先ほども私、お願いしたところがございますが、オープンハウスのイメージ、先ほど、意味がないというお話もあったんですけども、我々が持っているイメージを1回お話しさせて頂ければと思います。</p>
徳差専門課長	<p>お手元の資料のスライドの30番なんですけれども、これが他事業の事例でして、ちょっと写真だけ載せておりますけれども、開催が今年の7月から8月にかけて4日間開催したものでございます。事業は、東武東上線の大山駅付近の連続立体交差化計</p>

発言者	発言内容
	<p>画のオープンハウスということでございまして、先ほど言いましたように、7月から8月にかけて4日間開催していると。2会場で開催してございます。</p> <p>開催時間は、金曜日と土曜日、それぞれの会場でやっています、金曜日は午後4時から8時、土曜日は午前9時から12時という形で、その会場をあけて開催しております、4日間で大体386名が来たという、そういった規模なんですけれども、このやり方なんですけれども、やはり開催中であれば、どなたでも来ていいという形になってございます。開催時間中であれば、いつでも参加頂けるよという形になっております。</p> <p>ご存じの方もいるかもしれませんが、会場内には説明パネルとか図面だとかを展示しております。当然、自由にご覧頂けると。職員も対応してまして、それぞれの方々の関心に応じた質問だとかそういう意見を適宜職員が説明していくという形になってございます。こういう形で、今回の意見交換会をオープンハウス型に変えていくということで、先ほど来言っていますけれども、より多くの人の意見も頂きたいと。皆さんの意見も、来て頂きまして、意見を言って頂ければと考えております。(不規則発言あり)</p>
参加者	意見はどうなるんですか。聞いた意見はどうするんですか。
今泉課長代理	ちょっとお待ち下さい。オープンハウスで聞いた意見を。ちょっとお待ち下さい。今、(参加者)さんの最後の問いだけ。
参加者	<p>最大の問題は、自分たちの都合のいい説明しかしないんですよ。この道路ができると、追い出される住民、どうなるのか、環境がどんなに悪くなるのか、その説明は一切ないでしょ、これまでも。オープンハウスだって、そんなことやらないでしょ。住民を追い出して、その住民、どこに行かせるんですか。すごく自然豊かなあの五丁目の人たちが移転したら、同じような環境のいいところに移せるという保障あるんですか。そういう問題についても、プラス面だけじゃなくてマイナス面がこうありますよと。それを広く市民に知らせるんですか。オープンハウスは東京都が主催するんだったら、住民団体にその半分のスペースを貸してもらって、我々が、都が言っているプラス面だけじゃなくて、こういうマイナス面があるよというパネルを展示するような場所もつくって頂けるんですか。勝手に都合のいいことだけ説明して、交通が便利になりますよと、震災になると広い道路ができるから大丈夫ですよと。そんなことやったって、町会が分断される訳でしょ。隣同士のコミュニティーが壊される訳でしょ。小学校に行くのに、あの広い道路を渡らなきゃいけないんですよ。幼稚園、保育園ある。そういういろんな問題について、こういう問題もありますけれどもいいですかという話をするんだったらいいですけども、自分たちの都合のいいプラス面だけ、道路をつくるのに当たってプラス面だけ説明して、あとは一切何も説明しない。そんなオープンハウスというのは、全く住民や市民を愚弄するものですよ。</p>
今泉課長代理	今考えているオープンハウスにつきましては、まだ具体的な、これはイメージですけども、周りに展示物を並べて、都が作成する必要性だとか優先整備路線の選定過程は



発言者	発言内容
参加者	<p>パネルにして丁寧に説明させて頂ければと思います。</p> <p>また、用地取得等に関するお話もあったんですけども、そういうところも、今頂いたご意見を参考に、どういった形で、団体様が来た場合にどういった対応ができるかというのは内部でも検討したいと思います。(不規則発言あり)</p> <p>例えば、団体で10名のグループが来た場合に、どういうご対応ができるかというのは、我々、検討します。</p> <p>手を挙げていらっしゃる方もいますし、まだ一回もお話しされてない、じゃ、(参加者)さんの後ろ、(参加者)さん、よろしいですかね。</p> <p>1つ提案があるんですけど、今日の一番最初って言ったら見せて頂けますか、スライド、一番最初。(スライド資料15番をスクリーンに表示)。いろんな議論になっていきますけれど、結局、みんな、一番腹に落ちてないのが、やっぱりこの道路の必要性なんですよ。したがって、意見交換会、こうしていると、議論が本当に散らばってしまうので、次回は、この意見交換会、サブテーマで、その必要性についてというテーマでやりませんか。多分、都の方はさっきから、絶対それはもうやらないとおっしゃっていますけど、少なくとも選ばれた住民代表、今日、30名ですか、その人が大半、そういうテーマを絞ってやることに賛成をされたら、多分、都側は無視はできないと思うんですよ。是非そういうテーマを絞って次回やりませんか、意見交換会を。</p> <p>私がつくづく思うのは、やっぱりさっきの道路の調査結果を見てもそうだけど、これから人口が減る、高齢化、運転者は減る、若者の車離れが進んでいる、産業構造がどんどん変わっている、それから、既存のインフラが大変に今、疲弊してきているんですよ。ですから、これから橋梁だとかトンネルとか大変な費用がかかって、その補修をやらなきゃいけない時代が来る訳ですよ。そういう中で、多分物流も、これからドローンとかそういうのができてきて、道路をつくって運ぶというウエイトはもうちょっと減ってくるんですよ。そういう中で、これだけたくさんの住民犠牲と、市民憲章にもはっきり書いている小金井の大変大事な自然をこれだけ破壊してやるほどの価値があるのかどうか、ここの議論、徹底して次回はやって頂きたい、こう思いますけど、いかがでしょうか。</p>
徳差専門課長	<p>まず、必要性については、既に第四次事業化計画の中で東京都として確認済みでございます。15の検証項目がある中の1つは、基本的には将来、都市計画道路のネットワークの検証という中において、交通処理機能の確保と避難場所へのアクセス向上、延焼遮断帯の形成ということで検証を行っております。先ほどの交通処理機能の確保については、先ほど申しましたように、推計交通量にしまして約6,000台というところを…(不規則発言あり)</p>
今泉課長代理	<p>今、都側が一生懸命答えようとしていますので、お聞き下さい。お願いします。</p>
参加者	<p>座りなさい。あなたいくら言っただって駄目だ。話にならない。同じことしか言わない。</p>

発言者	発言内容
参加者	人を馬鹿にするんじゃないよ。
参加者	今の、(参加者)さんの質問に答えてないんですよ。ということは、じゃ、分かりました、あなた達の立場は、あなた達の主催では無理だとすれば、例えば、今、小金井の議員さんたちもいらっしゃる、そういった方、さっきの司会の話も出たけれど、多少は中立的な立場の人たちとか、そういった人たちが運営する形でやったとして、あなた達は出てくるんですか？
今泉課長代理	冒頭、マイクをお渡しできなくて申し訳ありません。
参加者	(参加者)さんの意見に対して、もうそれは話にならないという回答だったですよ、今。私はそう聞きました。だとすると、話があまりにもさみしいので、その接点みたいなことを考えたとして、例えば、小金井市の市議会議員でもいいですよ、が間に入って、それでは一から議論しましょうと、そういう場を自分たちはつくりますから、市民の方も来て下さい、東京都も来て下さいという話がもし出たとすれば、あなた達は出てくるんでしょうか？質問。
徳差専門課長	私どもとしましては、あくまでもこの路線について、環境や景観への配慮について、皆さんの意見を頂きながら進めていきたいと考えております。したがって、先ほど、テーマを絞ってというお話がありましたけれども、そこについてはオープンハウス形式という形に変えさせて頂いて、そこで、今頂いた意見はどんどん出して頂いて構いませんので、そういう形で皆さんの意見を聞いて……
参加者	わかった、わかった。ちょっと待って。あなた達、非常に若い、多分頑張っている官僚の皆さんですよ。基本的にそう思う。私は信じたい。そういう中で、ただ、今のこのやり取りの中で、あなた達の対応を見ていると、それでは、これから世の中、通用しないよ、一官僚としても。やはり少し鎧兜を脱がないと話が少しも広がらない。世の為、人の為ということで考えたとすれば、あなた達も少し自分の裁量を工夫して、その一つの提案として、都市整備局と役人の枠を超えて話せるような体制を作ったらどうですかということを最初から私、言っている。それに対して、都市整備局に我々の提案を出したかどうか、それがまだ回答として出てきてないんだけど、すみません、最後、私が最後じゃないとは思いますが、ごめん、それも聞かせて下さい。
今泉課長代理	先ほどの必要性のテーマに特化してという議論は、都としては結論を持ってしまして、先ほどからご説明しているとおりでございます。例えば、別の市民の方が主催する説明会とか意見交換会、市民の方が主催する会に、小金井の都市計画道路の必要性に特化して、東京都建設局、または都市整備局が出席できるかどうかは、必要性に特化したテーマではなかなか出席しづらいというのが今、この場の見解でございます。

発言者	発言内容
参加者	<p>先ほどから、時間もあるんですが、1回、窓側の島に行って、2列目、(参加者)さん、初めてのご発言ですので。マイクをお願いします。</p> <p>今回お伺いしようと思ったこと、冒頭にお答えも出ていたんですけども、市民はあくまでも東京都と対等な対話を求めています。なのに、話したい相手の部局の間は出てこない。話し合うテーマについても制限をかけようとしている。これはとても対等な対話とは言えないと思います。もし本当に市民を対等と考えているならば、行動で示して下さい。同じように、もし市民を対等と考えているのであれば、意見交換会の形式変更に関しても、市民の同意を得た上でやるべきです。以上です。</p>
徳差専門課長	<p>意見交換会の目的ですけども、繰り返し言います。先ほど来も言ったとおり、皆さん、耳にたこができていないかもしれませんが、3・4・11号線の整備に当たっては、環境、景観への配慮などについて、小金井市内にお住まいの皆様のご意見を伺いながら検討を進めたいと考えています。つきましては、このたび、小金井都市計画道路3・4・11号線に関する意見交換会を開催することとしましたので、参加者を募集しますという形で皆さんの参加を求めまして、それでやってきている訳です。そうしまして、私どもが目的としております意見交換会が、先ほど来できなかつたと申しておりますけれども、そういう意味でオープンハウス型の説明会に変えまして、より多くの人の意見も聴取したいと。また、そういう場には色んな方も自由に来れますので、意見を頂くと。それを反映しまして、事業を進めていきたいと考えております。</p>
今泉課長代理	<p>ご発言がある方いますので。まだ発言されてない、真ん中のブロックで、3つ目の(参加者)さん、どうぞ。</p>
参加者	<p>徳差さんにお聞きしたいんですけども、梶野町四丁目に住んでいる(参加者)といいます。ジャーナリストという仕事をしています。オープンハウスで意見をどんどん言ってほしいとおっしゃいましたよね、先ほど。その意見どうするんですかということをお聞きしたいんですが。</p>
徳差専門課長	<p>今のお答えですけども、今後開催するオープンハウス型の説明会は、これから実施したいと考えています環境現況調査について、それについての……。</p>
参加者	<p>その聞いた意見をどうするのかということなんです。そんな難しいこと聞いてないので、簡潔に答えて下さい。</p>
徳差専門課長	<p>頂いた意見は、今後の環境現況調査などの検討に役立てていきたいと考えております。</p>
参加者	<p>計画そのものの見直しの意見はどうするんですか。</p>

発言者	発言内容
今泉課長代理	<p>オープンハウスにおきましても、そういったご意見があれば、それはお伺いします。もちろんお伺いします。</p>
参加者	<p>私が聞いているのは、伺った意見をどうするのかと聞いているんです。そんな難しいことは聞いてないので。だから、言うとは、皆さん、もう自分たちは何か考えを変えるつもりはないということなので、多分そういうことは無視されるんだろうなと思っています。それで、徳差さん、聞いてほしいんですけど、都市整備局が立川でやったオープンハウスに私も行っているんです。それで、都市整備課長だったかな、パブコメで反対の意見が多ければ計画を見直すことはあるんですかという質問に対して、それはあり得ると言ったんですよ。なんだけど、その後、去年の6月に都市整備局と市民と面談の機会があって、そのことを聞いたんですけど、結局、あれは言った人間がそう言っただけで、それには責任が持てないという、そういう期待を持たせるようなことを言ってごめんねみたいなことを言っていたんですよ。</p> <p>結局、だから、意見を聞くだけ聞いて捨てるようなオープンハウスというのは、梶野町四丁目、小金井に住む住民の一人として申し上げますが、くそだとはっきり申し上げたいと思います。小金井市の方がお見えです。このやりとりを見て、1回、2回目も見て思ったんですけど、小金井市がどう思っているのか、これは生暖かく見守っているだけなのかなという。これ、ひょっとしたら2回目の意見交換会のときに賛成されている方は、うちの前、いっぱい車が来て、大変だ、早く作ってくれという意見が上がりました。でも、もし今、この状態で実際に道路をつくったら、立ち退きに遭って、立ち退きに遭う人たちは、自分たちが犠牲のしわ寄せを負う訳ですよ。だから、本当に同じ地域に住んでいたら、仲のいい悪いとか意見の合う合わないはある。これはあるのは当然だ。なんだけど、ここでもし本当に、この計画に従って道路を作ったら、後戻りのできない地域の分断が起きると私も思うんです、(参加者)さんがおっしゃったように。そういうことが今ここで、この路線で、都の方針でいったら進んでいく可能性があるということをお考えですが、どうお考えですか。ちょっとお聞きしたい。だから、本当にこれで、こういうぐだぐだな展開で小金井市としてはいいと思っているのかどうなのか、お聞かせ下さい。</p>
今泉課長代理	<p>申し訳ございません、(参加者)さんのご意見、小金井市の方に対するご意見、分かるんですけども、本日、来て頂いている方が、ご担当の方ということで、組織としてお答えすることがなかなかできないお立場の方々でございます。</p>
参加者	<p>えー、何で？</p>
参加者	<p>聞きたいんですけど。</p>
田部井係長 (オブザーバー)	<p>直接答えます。</p>

発言者	発言内容
今泉課長代理	いいですか。
参加者	あんたが答える必要ないよ、いるんだもん。
田部井係長 (オブザーバー)	<p>こんばんは。都市計画課で都市計画の係長をしております田部井と申します。よろしくお願いたします。本日、我々、オブザーバーという立場で参加をさせて頂いております。一応、私どもの立場をご説明させて頂きますと、今回の主催者は東京都さんでございまして、オブザーバーという立場は発言権のない立場で、皆さんの様子を拝見させて頂いて、これまでの意見交換会ですとか説明会でもそうなんですけれども、我々、こういった形で拝見をさせて頂いて、また、職場に戻りましたら、上司ですとか市長まで速やかに報告させて頂きまして、という役目を負っている者でございます。大変恐縮なんですけれども、この場で我々、管理職でもございませので、正式な責任のある発言がなかなかしづらい状況でございますので。</p> <p>市民の方々の熱量は十分伝わってまいりました。毎回そうですけれども、具体的なご発言なども箇条書きにして、早ければ次の営業日には市長までご報告させて頂いて、今回ですと火曜日が営業日でございますので、早ければ火曜日には市長までご報告をさせて頂いているという状況でございます。大変恐縮ですけれども、ここまでとさせて頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。以上でございます。</p>
今泉課長代理	小金井市さんについてはよろしいでしょうか。先ほどから、当初の告示文の、前回、先ほど、議事録のページにある発言についてです。当時の決裁文書のところに触れるものです。お答えさせて頂くことが漏れていましたので、今から。
徳差専門課長	議事録も確認いたしまして、確かに可能な範囲で、私のほうでお調べしまして、こちらでお調べしまして、意見交換会等でお示したいと考えておりますという発言をさせて頂いております。そこで、先ほど、ちょっと話もありましたけれども、お調べしたところ、決裁されたというものが、大臣が決裁したものがなかったということで、今、こちらで報告をさせて頂きます。よって、お示しするものはございません。
今泉課長代理	<p>そこで、先ほど、私からもお答えしましたけれども、主務大臣の決定がないという決裁文書なんですけど、そのプロセス、どういうルールでそうなっているかというのまでは把握し切れないところなんですけれども、やはり官報での告示があったというところ、これは法令等に基づいて手続をとって、認識していると。我々はそういう認識です。</p> <p>恐れ入りますが、時間も9時を迎えようとしてまして、挙手をされる方いますか。じゃ、窓側、(参加者)さんでよろしいですか。</p>
参加者	私は地権者でもなく、ずっとここで育った訳でもない一会社員ですけれども、やっぱり将来の世代のために、ここに今住んでいる人がこんなばかなことをしたら面目ないな

発言者	発言内容
	<p>と率直に思います。先ほど来、手法論は二の次の話で、そもそもの意見交換の目的が全然すり合っていないですね。環境と景観に配慮したというのは再三おっしゃっているけれども、そもそもの計画自体は変えないよと。せいぜい設計のディテールぐらいの話なら聞いてみようかということじゃないですか。そうですね、徳差さん。そうですね。そうですね。聞いているんですよ。いいですか。</p>
徳差専門課長	<p>目的は、ですから、環境や……</p>
参加者	<p>だから、その目的は何ですか。</p>
徳差専門課長	<p>環境や景観に配慮したご意見を頂いて……</p>
参加者	<p>そのご意見というのは、せいぜい設計の意見ぐらいの話でしょう。おっしゃってるのは。そんなことは誰もこの意見交換会で求めてなくて、先ほど来の手続が正当かとか、あるいは、私なんか思うのは、やっぱり50年とか100年後の社会のありようの中で、こういうインフラが本当に必要なのかということをもう1回考えなきゃいけないと思うんですよ。今の便利とか、利権とか、そんな話じゃないですね。大きな社会のインフラをつくるという話は。そういうことをきちっと考えるためには、先ほどの交通量推計なんて、将来推計なんていうのも、大体、結論のためにコンサルに発注して、結論を書いてもらうというのは、大体、常套手段ですから、どこのコンサルにどういう発注をしているのかなんていうことも是非知りたいし、そんな話も、是非公開して頂きたいと思います。</p> <p>今日、もうこの時間で、じゃ、この次、どうするんですか。プロパガンダのための、このオープンハウスなんていうのは全くもって反対ですし、誰も賛成する人いないですよ。そういう中で、本当にこのまともな民主主義の上で、オープンハウスしかやりません。宣伝の資料しか配りません。こんなことには全く賛同できないですし、そのまま本当に強行するのか。強行するんなら強行するって、この場で言ったらどうですかね。どうなんですかね。</p>
今泉課長代理	<p>最初、やはり目的のところのお話がありました。あえて、この場では、私、都側の目的は繰り返しません。ただ、皆さんの目的は、これまで、今日で3回目ですけれども、先ほど申し上げましたが、我々は、都の意見交換会の開催の目的は今でも変わってません。それについての意見交換ができてないということも認識をさせていただきます。ですので、我々は最初の公募のときに、都の言っている目的についてお伝えしているということで、皆さん、参加しているというところだったんですけれども、そういう意見が頂けてない。目的から違っているということでございます。ですので、次、もし、オープンハウスに変えていきたいと考えているんですけれども、その際は、やはり目的をもうちょっと分かりやすくお示しして開催させて頂きたいと考えてございます。</p> <p>それから、将来、都の道路の認識論なんですけれども、それについて、徳差からも、</p>

発言者	発言内容
参加者	一言述べさせていただきます。
参加者	ちょっと待ってよ。今の話は全くひどいよ。ということは、同じような話だと思うけど。
今泉課長代理	一旦、手をおろして頂いてよろしいでしょうか。 いいですか。じゃ、大変申し訳ありません。9時がちょっと過ぎましたけれども、今、お手を挙げている方。じゃ、そちらの（参加者）さんでよろしいですか。じゃ、お願いします。
参加者	先ほどからずっと出ているテーマについてなんですが、現在のテーマについて、そちらが提案したテーマが、私たちが、市民のほうが勘違いして集まったので、この場が必要でなくなったという言われ方をしたというふうに私は感じました。 そこで、何でそうなったかという、市民のほうは、突然、こういうことをやりますと。これまでの経緯をほとんど知らずに、いきなりパブコメをかけられた。あそこに道路をつくります。皆さん、どう思いますかというパブコメがかかって、パブコメをやったんで、次、市民との意見交換をしますというふうに言われたので、反対する方、危機感を持った方がたくさん集まったんだと私は思っています。そのために、何が今後、じゃ、必要なのか。もっと建設的な意見交換をするためには何が必要なのかといったら、先ほどから皆さんがおっしゃっているように、必要性をテーマにして、必要と思う方も、必要でないと思う方も、東京都も小金井市もみんな平場で同じ立場で集まって話し合いをしませんかという提案が最初のほうでありました。これについて、建設局のほう、皆さんが、まず整備局ですか。この計画をつくった方々に、きちんと1度戻して頂いて、こういうふうに市民が言われていますと、どうしますかということをお話して頂いた結果を、次回、持ってきて頂いて、そこからやり直してほしいです。いかがでしょうか。
徳差専門課長	必要性の議論でございますけれども、これはスライドの21番に書かせて頂いておりますとおり、四次計画において将来都市計画道路ネットワークの検証を実施しております。そういった中で必要性は既に確認されておりますので、そういった重要性、緊急性を考慮して、優先整備路線に選定しております。したがって、当該区間のそもそも論については、これは話し合いとか、そういったことはするつもりはございませんし、都市計画の廃止や優先整備路線から除外することも現在のところは考えてございません。
今泉課長代理	（参加者）さん、ちょっとお待ち頂けますでしょうか。
参加者	この道路については、地元が反対しているんですよ。市長だって同意してないんですよ。

発言者	発言内容
今泉課長代理	<p>まだ、ご発言されていない方がいますので、ちょっとお待ち頂けますか。お願いします。</p>
参加者	<p>市長が同意していないことについて、東京都は強行するんですか。おかしいですよ。</p>
今泉課長代理	<p>ちょっと待って下さい。前から4つ目の（参加者）さん、よろしいですか。すみません。</p>
参加者	<p>今の徳差氏の最後の発言、ちょっと撤回されたほうがいいんじゃないですか。というか、謝罪したほうがいいと思いますよ、そういう姿勢は。</p> <p>時間も時間ですけども、もう、結構、結論ははっきりしてるじゃないですか。要するに、意見交換会、両方とも、建設局のほうも、十分、意見交換会として成立してなかったというふうにおっしゃってますよね。僕らもそういうふうにありますよ。それはなぜかという、もう最初からボタンのかけ違いで、この優先道路を決める前に、本当は意見交換会というのは都市整備局によって行われなきゃいけなかったんですよ。それを東京都がしなくて、決めた後、そちらに振られちゃった。振られたほうも大変でしょうけれども、こういう事態を引き起こしているんですよ。だから、もともとは、本当はパブリックコメントをとったり、立川のオープンハウスをしたり、そして意見。だって異常でしょう。2,000ものパブリックコメントで、反対とか見直しの意見が市民から寄せられてて、生の声をちょっと聞かないとまずいんじゃないかと。今までどおり、型どおり進めればよいというもんじゃないということぐらいの判断が、東京都が、整備局がしなかったことが。そこで意見集約、意見交換の場を市民と直接対話する形でやろうというぐらいの決断をして、最終決定しようという手順を踏まなかったことが、本来そうすべきだったところが、そうじゃなく来てしまっているのが、やっぱり最大の問題なんですよ。</p> <p>だから私たちは、そういう意見交換の場を、少なくとも小池都知事も、ここ、（スライド資料）25番ですか、丁寧に対応することとなっている訳ですから、そういうボタンのかけ違いみたいなことをやってしまったがゆえに、余計、東京都としては、私たちに対して、特に地元住民が多い、こういう意見交換の場をつくれた訳ですから、丁寧に、丁寧に、10年間、丁寧にやればよいんですよ。それを2回ぐらいで、挫けて止めてどうするんですか。</p> <p>それで、だから都知事に対しても、整備局に対しても、建設局としては、丁寧に対応しなさいという知事の命令でやっているんですよ。年に1回ぐらいは意見交換をやって、積み上げていって、10年間やって、合意ができれば建設に移れるけれども、そうじゃなければ移れませんよということを言いながら、堂々と意見交換会を続けましょうよ。こっただって本当は10年間もつき合いたくないですけども、やりますよ、そんなの。それで残るんだったら。それぐらいのことなんですよ。そちらの方は異動で、もう変わっちゃうかもしれませんけれども、丁寧に対応してますって、都庁の中で言っていればよいじゃないですか。何度でもやるんですよと言っていればよいじゃないですか。だって、</p>



発言者	発言内容
徳差専門課長	<p>これを強引に進めたらどうなります。そんなことぐらいの想像力あるでしょう。</p> <p>国のほうだって、1回決定したことだって、見直ししていいですよということを全国に出してるんですよ。10年の中で、もっと東京都も、もう1回見直す。決めたことも含めて見直ししていきましょうという空気ができてくれば、建設局だって丁寧にやっているということが、全然恥ずかしいことでも何でもないですよ。だから、年に1度か2度、次の意見交換会は、1回、もう1回、必要性を、建設局も自分自身が学ぶつもりで、1回、本当に必要なのかという議論をやる意見交換会をやるということで、今日は終わりにすればいいんじゃないですか。</p> <p>まず、事業は強引に進めるつもりは全くございませんので。</p> <p>今後の話ですけれども、やはりより多くの方々と個別にお話ができ、さまざまな意見を伺うことができるオープンハウス型の説明会に変更していきます。</p>
今泉課長代理	<p>ちょっとお待ち下さい。じゃ、ご発言を希望される方。初めての方。それじゃ、(参加者)さん。マイク。こちらの2列目。</p>
参加者	<p>中町在住の(参加者)といいます。</p> <p>100歩も200歩も譲ってというか、今回、調査結果の説明をされたかったようなんですけど、調査って何のためにやるんですか。それをもって、いろんなことを検討したり考えたりすることが必要だからこそ調査するんですよね。だけど、調査はしたけど、でも、廃止とか除外することも考えないし、必要性についても検討しないのに、調査をして、その結果が、調査した意味あるんですか。それ、税金泥棒と同じじゃないですか。何のために調査するんですか。調査したらば、その結果をもって、だから本当に必要なんだとか、必要じゃないんだとか、検討するための調査じゃないんですか。私たちの税金でやってるんですよ、調査。その費用、どこが出しているんですか。税金でしょう。だから、もし、それを報告したいと言うのであれば、それは必要性について検討することを前提の報告じゃなきゃ駄目じゃないですか。おかしいでしょう。報告するためには、なぜ報告するのかといたら、必要性を検討するからですよ。そこをなしにして、もう結果は出てます。だけど報告しますって、順序が逆でしょう。だから、皆さん言うように、まず必要性について検討する会を持たなきゃ駄目ですね。と思います。</p>
今泉課長代理	<p>恐れ入ります。繰り返になってしまうんですけど、この区間の必要性につきましては検証済みという認識でございます。今回の交通量調査の目的については、先ほどお話しさせていただきましたので、繰り返になってしまうので。</p> <p>ちょっと、お待ち下さい。また、じゃ、ほかにお手を挙げている。じゃ、(参加者)さん、まだご発言頂いていないので、お願いします。</p>
参加者	<p>直前に資料が送られてきて、それを見せて頂いたんですけども、実際、この資料を見て、結構、私はショックだったんですね。オープンハウス型の説明会とは何だろうと。</p>

発言者	発言内容
	<p>今、話を聞いてみると、これは意見をたくさん出して頂くと言っていますけれども、結局は説明会でしかない訳ですよ。意見交換の場ではない訳ですよ。意見を聞いてどうにかするというのではなく、事業を進めるということを皆さんに分かって頂くために説明をするという場でしかないのではないかというふうに思いました。</p> <p>私は実は第1回目から聞きたいことがあって、幾つか箇条書きにまとめてきてたんです。ところが、この意見交換会で皆さんがいろいろ意見を出していく中で、こういうことを聞いていいのかなとか、聞きそびれていたことが随分あったんですね。私はちゃんと東京都の方と意見を交換したい、話をしたいというのがあった中で、小金井市の中には、国分寺崖線というのは、とても貴重な宝だということがある中で、東京都だって、国分寺崖線の景観基本軸に指定をして、ここを守っていかなきゃいけないというふうに言っている訳ですよ。また環境確保条例があって、それで東京都は地下水の流れの確保ということもきちんとして進めていかなきゃいけないというようなことをしている訳なんです。そういう中で、そういう国分寺崖線の景観基本軸をどう考えているのかとか、地下水の流れのことについても、どういう考え方をしているのか。</p> <p>そして、小金井市のほうでは、市議会から意見書も上がっていますし、私が在籍している小金井市の環境市民会議でも、きちんと要望書を上げているんですよ。そういうものがパブリックコメントと同様に、本当になものにされているのかと思うと、本当に悲しくてしょうがないです。やっぱりきちんと市民の意見を聞いて、さまざまな観点から、この道路をどうしていくのかということを中心に話し合う場を持って頂きたいというふうに思います。以上です。</p>
徳差専門課長	<p>まず、オープンハウス型の説明会、説明会というふうに言っていますけれども、一方的な説明会ではなくて、自由に皆様方、来て頂いて、意見を頂く。それに対して、意見、あるいは質問、懸念事項も頂く、個別に頂く。それに対して、職員、私どもが答えていくということでございますので、一方的な説明会ということではございません。まずはですね。</p>
今泉課長代理	<p>最初に私が進行でありながらの、この部屋の時間の関係を申し上げてないんですけれども、当初は21時までということで、延長してもと思っていたんですが、議論もいろいろあり、既にもう9時20分を迎えようかとしているところでございます。</p> <p>実を言うと、22時に撤収ということで、商工会の方々のご厚意でお借りしております。ついては、もうお一人という形で大変申し訳ないんですが、手を挙げている（参加者）さんですけども、ご意見を伺って、本日の意見交換は終了という形でお願いしたいと思います。</p>
参加者	<p>地元町会の町会長として申し上げます。小金井市の職員も来ているようですから、西岡市長には、オブザーバーとして聞いて、お伝え下さい。</p> <p>五丁目町会は、まさにこの道路計画に直撃されますが、五丁目町会としては、この道路計画を受け入れる訳にはいきません。なぜかという、まず町会を真っ二つに分断す</p>

発言者	発言内容
<p>今泉課長代理</p>	<p>るということですね。コミュニティを破壊するということです。これはどんな弁明も都側ではできないでしょう。客観的な事実ですから。</p> <p>第2の理由は、児童の通学路を分断します。南小へ通っている子どもたちの3分の1ぐらいは東町五丁目から通っていますが、その通学路を分断する非常に危険な道路であるということですね。それが第2の理由です。</p> <p>それから、第3の理由としては、東町五丁目の一時避難場所、直下型災害が起こった場合の最初に逃げるべき避難場所は東中学校になっています。「いちじ」避難場所ではありません。「いつとき」避難場所と読むんだそうです。一時避難場所は東中学校になっています。東中学校に逃れた人間が、新しくできた、この大きなブリッジを渡って、武蔵野公園に来るという、そういう行動をとるでしょうか。そんなばかなことをする必要ありませんよね。東中へ一旦避難したら、ICUの脇の富士見坂を通過して武蔵野公園へ来るか、さもないと栗山公園や野川公園へ行くか、ICUのキャンパスの中が、むしろ避難場所になる訳です。ですから、3・4・11が災害のときの避難場所になるなんていうのは全くの虚構です。これ、説明のためにつくった苦し紛れの文章ですよ。同情します。</p> <p>今日見えている道路建設部の何名かの方、多分、上司から、おまえ、小金井の説明に行っていってこいという命令をされて来たんでしょ。その心境は私にもよく分かります。本音の話はできないだろうけど、とにかく説明をして、納得させてこなきゃならないという立場で来ているのでしょう。そこら辺、よく読めるんですよ。それに同情しなくてはいかんですが、東町五丁目の住民としては、これを受け入れることはできません。それは是非、小金井市の職員は市長に伝えて下さい。もうじき市長選がありますから、市長選に備えて、市民の票が欲しければ、ちゃんと考えろと。</p> <p>それから、一番基本的なことは、先ほども私が申し上げたように、原点に戻って、この道路が違法であるということです。違法なことを東京都がやっていいということではありません。ですから、一旦、この計画は白紙にして、都市計画新法に基づいて、改めて住民の意見を聞いたり、地元の市の意見を聞いたりして計画をつくり直すべきなんです。そういうやり方をしない限り、都民は都庁の職員を信用しなくなるだけです、東京都の行政に対する信頼感というのは、ますます悪くなるだけです。税金、都民税を払いたくないという気分が高まっていくだけなんです。</p> <p>皆さんは、今日、ここに来ているのも、残業手当もらえるでしょう。でも、ここに来ている我々は、そういう手当、一切なしで議論をしに来ている訳です。そういうことも考えて下さい。</p> <p>(参加者)さん、東町五丁目町会として、ご意見承りました。</p> <p>大変申し訳ございません。9時25分が、実はもう撤収を含めますと、ぎりぎりでございます。じゃ、我々とすれば、オープンハウス型の説明会ということに変更させて頂きたいと考えてございます。しかしながら、こういった意見がございましたので、今日の意見については、それについて、改めて。</p> <p>(参加者)さん、申し訳ございません。今日は徳差のほうからお話しさせて頂きたい</p>

発言者	発言内容
徳差専門課長	<p>と思います。</p> <p>先ほども申しましたところでございますけれども、お手元の配布資料のスライド29番でございます。ここに全て集約されてございますけれども、今後はより多くの方からの個別なお話を、さまざまな意見を伺うことができるようなオープンハウス型の説明会を開催することとしておりますので、是非、ご理解を頂きたい。</p> <p>それから、今後の予定としまして、スライドに（スライド資料31番をスクリーンに表示）、ちょっと映してありますけれども、こういったことで、頂いた意見を踏まえまして、環境現況調査を進めていきたいと考えておりました。</p> <p>やはり意見交換会の私どもの当初の目的であります環境や景観への配慮などについて検討を行いたいと、そのために皆様方の市民の意見を聞きたいというところがございますので、それを踏まえまして、環境現況調査が必要となつてございますので、それを進めるためのオープンハウスで、またいろんな方々の意見を頂きまして、進めていきたいというふうに考えております。</p>
参加者	<p>オープンハウスもやればいいじゃん。それでこれもやりましょうよ。第4回やって下さい、お願いします。</p>
今泉課長代理	<p>大変申し訳ありません。今、（参加者）さんの言葉とかです、ありました。じゃ、改めて。マイクございますか。</p>
参加者	<p>この都市計画道路について、小池都知事は都知事選の公約をしているんですよ。ここに代表の方がいますけれども、はげ文の方が、はげ文が質問された公開質問状に対して、小池都知事が公式に回答しているんですよ。小金井では市議会が見直しを求めている。こんなの要らない。こういう地元の議会の理解のないままに事業を進める。こんなことはやらないよというふうに言っているんですよ。はげの自然も壊れると、こういう危惧はある。一旦失われた緑というのは回復できないよ。こういうことで、具体的に、この小金井の道路については賛成できないよということを小池知事言っているんですよ。こういう回答について、どう考えるんですか。</p> <p>地元は今も市議会、何度も見直しの決議あげてますよ。意見書出してますよ。市長も、はげの自然が壊されるから、こんなの同意できないと言っているんですよ。地元の同意を得ないで、何で強行できるんですか。地元が理解しないのに、同意もしてないのに、やってくれって頼んでもいないのに、そこに道路をつくるんですか。こんなことおかしいでしょう。民主主義社会ではあり得ないでしょう。だから、止めるか、10年間、じっとして下さいよ。</p>
徳差専門課長	<p>今、知事の考え方についてのご意見といたしますか、ありましたけれども、今、スライドに出ておりますけれども、このとおり、平成28年の第3回都議会定例会の一般質問におきまして、知事はこの大きく4点の答弁をしております。特にこの4点目ですね。</p>

発言者	発言内容
参加者	<p>今後、道路の果たす役割や機能、環境にどう配慮するかについて、市民との意見交換の場を設けて、丁寧に対応を行うということを答弁しておりまして、その指示に基づいて、意見交換会、あるいは説明会ということをやってきた訳でございますけれども、さらに、より丁寧に、多くの市民の意見も頂くために、オープンハウス型の説明会に切り替えていきたいというふうに考えております。</p> <p>意見交換会とオープンハウスと両方やってもらいたいと思っておりますけど、オープンハウスの場所についてなんですが、前回のように立川でやられても、本当に行ける人は一部になってしまうので、是非小金井市内、武蔵野公園の現地、東町五丁目、路上で是非やって頂きたいと思っております。あと小金井市の駅前とか、分かりやすい場所で、オープンハウス、絶対にやって下さい。そうじゃないと、立川なんかでやられても、誰も行きませんし、本当に意識のある人しか行かないので、武蔵野公園を散歩する人たちも全然知らないでいますので、そういう方たちにも広げて、意見を言って頂くためには、現地でやって頂くしかないの、オープンハウスも、市内何カ所でもいいので、たくさんやって下さい。もちろん、意見交換会をやったの前提ですけども、そういうお願いを、ここでしておきたいと思っております。</p>
今泉課長代理	<p>先ほどから、私どもの考えを述べさせて頂いているところでございますが、今、(参加者)さんから頂いた、立川でとか、是非小金井市内で何カ所もというようなご意見、それから、これまで出た意見も含めて、ちょっとご検討させて頂ければと思っております。</p>
参加者	<p>検討の回答はいつもらえるんですか。</p>
今泉課長代理	<p>それは、このオープンハウスの開催の仕方の検討においてやらせて頂きます。場所だとか。</p>
徳差専門課長	<p>オープンの場所については、まだ全く未定ですので、これから沿道ですね、3・4・11号線の周辺でやることとか、いろいろあると思うんですけども、そういったことを検討させて頂きたいと思っております。</p> <p>また、意見交換会。今日の意見交換会は、先ほど来、申しましたとおり、オープンハウス型の説明会のほうに切り替えさせて頂きます。皆さんも、いつでも参加できますので、是非、いらして頂きまして、意見を言って頂ければというふうに考えておりますので、よろしくお願ひします。</p>
参加者	<p>意見交換、もうやらないのかって聞いてるんだよ。</p>
徳差専門課長	<p>意見交換会をやらないかといいますと、意見交換会は、オープンハウス型の説明会に切り替えますので、その場で意見交換の場を設定しております。設定していきたいと考えておりますので、そういう意味では、今の意見交換会は開催はしないということにな</p>

発言者	発言内容
今泉課長代理	<p>ります。</p> <p>これもお願いです。本当に最後1名でお願いします。お願いします。最後1名、(参加者)さんで最後ということをお願いします。</p>
参加者	<p>私たちは市民として、いろんな地域の人たち、そういう人たちの意見をまとめて、そして、ここに、意見交換会の場に来ている訳です。これでもう意見交換が、今までのすれ違いでもって、建設局が言うとおりの意見が通らないから意見交換会はやらないということは、本当に民主主義に反していると思うんです。もっと私たちの意見を聞いた上で意見交換会を進めて頂きたいと思うんです。それもしないで、オープンハウスにするということについては、私は同意できませんので。</p>
徳差専門課長	<p>先ほど来から申しましたとおり、オープンハウス型の説明会に切り替えていきまして、皆さんに来てもらいまして、意見を出して頂ければというふうに考えております。</p>
今泉課長代理	<p>大変、もう9時半を過ぎて、ちょっと、もう駄目ですね。すみません。その辺につきましては、オープンハウス型に切り替えたいと。ただ、そういったお話があったということは、たくさん頂いたということは持ち帰らせて頂きます。</p>
参加者	<p>都知事の答弁がありますよね。それで、都知事の答弁がそこに出ておりますけれども、先ほど五丁目町会長が言ったことと全く整合性がないんですよ。広域避難場所へのアクセス向上や地域の安全性向上に資する重要な路線である。現地というか、我々、住んでいる人間、町会長を含めて、そうじゃないという見解でしたよね。そうじゃない。これはそうじゃない。そうすると、知事はここの現状を知らないんですよ。この地域事情を知らないで、重要な路線であるという結論だけ出しているんですよ。</p> <p>その下の環境に配慮。僕ら一番大事に思っているのは、ここの多くの方が、そのことですよ。私も野川沿い、大好きなものですから、走って二子玉川まで行きます。そうすると、北南建さんが、安全に注意して遊んで下さいとか、いろいろ看板つくってますから、きっと北南建さんが、ずっとこの野川流域のことは見ておられるんだろうな。そうすると、北南建というのは建設局ですよ。そうすると建設局の人たちが、この地域のことをちゃんと見ているんだな。僕はそう思いたいんですよ。そうすると、その中で、今、道路をつくらうとしている武蔵野公園のところが、いかにすばらしい環境かということを知りますよね。あそこを壊しちゃ駄目ですよ。そのことを僕は都知事も現場で見てほしいし、それから、きっと僕、建設局の方たちも、僕は誠実に仕事をしようとしている方たちだと思うんで、僕はそこは信頼感を持ってお話ししたいんですけども、休日等に、武蔵野公園、野川公園の、あの川べりで遊ぶ子どもたちの姿とか、そういったのをご覧になっているのかな。それを見ておられるならば、整備の名前で壊しちゃうことはできないと思うんですよ。そこが本当に食い違ってますね。</p> <p>食い違ってますというのか、僕はいろんな話したくなっちゃうんだけど、新日本風</p>

発言者	発言内容
	<p>土記というテレビ番組が好きで、この前、白川郷の合掌造りのところ出てましたよ。そうしたら、あそこ、火事を起こしちゃいかんというので。いや、ごめんね。火事を起こしちゃいかんというんで、夜回り、みんなしてるんですよ、地域の人。それから、線香花火も使っちゃいかんという約束を地域でしているというのね。そうすると、僕は何か、生活の少々不便を。</p> <p>結局、何言っているかという、道路のネットワークをつくりたいだけです。それだけしかありません。今、都の出している考え方というのは、ここで最初に3・4・11号線を、防災のための避難場所へのアクセス向上だとか、延焼遮断帯の形成。ここの意見交換会で、そんなことあるのって随分出たけど、今日の回答の中に、そういったことは抜けてるんだよね。そうすると、そんな地域のこと考えて道路つくろうとしているんじゃないんだというのを、僕、これを一生懸命読んで、それしか残らなかったですよ。道路ネットワークを、ただつくることが目的の事業なんだとしか読み取れなかったですよ、僕は。</p> <p>そして、今ここに、ちょうど知事の答弁があるからだけれども、重要な路線というのは、広域避難場所へのアクセス向上と地域の安全性向上に資する。そうじゃないって、地元が言っているんですよ。知事は知らないんですよ。そうすると、その答弁を撤回してほしいよ。</p>
今泉課長代理	<p>(参加者)さん、申し訳ございません。知事につきましては、現場のことだと思うんですけども、私どもが代弁することじゃないですが、知事につきましては状況を見て判断するということを述べております。</p> <p>大変申し訳ございません。本日のご意見等は、また議事録等にまとめた上で、次回につきましても、開催するという確約はこの場ではできませんので、すみません。</p>
参加者	<p>さっき処罰される覚悟もあるって、とっても格好よかったじゃないですか。</p>
今泉課長代理	<p>それは、万が一、法律に違反するような場合はというところで申し上げてございました。</p>
参加者	<p>開催の判断できないんだったら、誰ができるの。</p>
今泉課長代理	<p>それも持ち帰って、組織としても判断しなければなりませんので。</p>
徳差専門課長	<p>時間もあれなんですけれども、昨年度実施をした2回の意見交換会、それから説明会もそうなんですけれども、その中では皆様のご意見というのは聞かせて頂いてございます。しかしながら、やはり事業化の是非を聞きたい、そもそも論を聞きたいという皆様と、それから、私ども、整備に当たって、環境、それから景観という目的で開いている訳なんですけれども、ある意味、事業化を前提としたというところの我々々々では、多分、平行線の状況なのかなというふうに考えております。そうしまして、昨年3月の1日目か</p>

発言者	発言内容
	<p>な。説明会の1日目に、説明会を開催させて頂いたんですけども、その場で意見交換の時間に、やはり退席していった方も多数いらっしゃいまして、そういう意味では、より多くの方の意見を聞いてないという状況になっておりますし。聞いて下さい。説明会も、やはり時間の制約もございますので、皆さん、手を挙げていたのは、もう承知しております。それで切らざるを得なかったという状況もありますので、そういう意味では、オープンハウス型の説明会というのは、皆さんも来て頂いて、それに対して、私ども対応していきます。ちょっと聞いて下さい。それから、昨年3月以降も、多種多様な意見も寄せ……</p>
今泉課長代理	<p>ちょっと今説明していますので、お静かに願えますか。</p>
徳差専門課長	<p>多種多様な意見も寄せられまして、賛成意見も寄せられていますし、一方、別の質問者には、意見交換会に応募したけれども、抽選に外れちゃったという方もございます。こういったご意見も踏まえまして、来年度から少し形を変えて、オープンハウス型ということで、そういう形でやりたいと思っておりますので、参加される方は、それぞれの立場から、さまざまなご意見を頂ければと考えております。</p>
今泉課長代理	<p>申し訳ございません。強引にというところで、私もここで強引に撤収をということは申し上げづらいんですけども、大変申し訳ございません。22時にこの商工会館が閉館だそうです。申し訳ございません。できるかどうか、それは……どうぞ。</p>
参加者	<p>進行係なんだからさ。今日の今の段階を受けて、どうするかということを出す責任を負っているんですよ。一般的な司会者の1人じゃないんですよ。僕なんか司会やってもよかったんだけど、あなたがやり続ける訳だからさ。最後どうするかという判断をして、次を続けましょうと、日にちはもう1回決めますということを書いて、お開きにしたらいいじゃないですか。それはあなたの決断ですよ。進行役の。</p>
今泉課長代理	<p>次回、この意見交換会を開催するか否かについては、先ほど徳差が申し上げたとおり、オープンハウス型の説明会に変えさせて頂きまして、皆様に参加して頂きたいと思っています。</p>
参加者	<p>それは司会の仕事じゃないの。司会は、この会議をどう最後まとめるかということを考えなきゃいけないでしょう。</p>
今泉課長代理	<p>私は、まず進行ですので、都側が、どう、この場の責任者である徳差のほうから申し上げたとおりですので、じゃ、もう一度。</p>
徳差専門課長	<p>先ほどもちょっと紹介しましたがけれども、いろんな意見が寄せられているということは確かでございますし、賛成の意見もありますし、応援をしてくれる意見も実はありま</p>



発言者	発言内容
	<p>す。そういう中で、先ほど申しましたとおり、より多くの意見を頂きたいと。そして、それを今後の事業の進め方に反映させていきたいというふうに考えておりますけれども、そういう形で、オープンハウス型の、まずは説明会をやっていききたいというふうに考えております。したがって、今回の意見交換会は、そういう意味では開催はしないということでございます。</p>
参加者	<p>今、そういう判断をした訳ですね。東京都としては、強引に、もうこの会議を打ち切るという判断をされたというふうに、私たち伺えばいいんですね。丁寧なやり方はもうしないということを、今、決定されたんですか。</p>
徳差専門課長	<p>打ち切るというか、意見交換会の形式を変更するという形です。オープンハウス型の説明会に変更するという事です。</p>
参加者	<p>オープン型説明会って言ったり、意見交換会って。</p>
徳差専門課長	<p>オープンハウス型の説明会ですね。そこで意見交換の場としたいということでございますので、それは誰が決定したかというのは、組織として決定したものでございます。</p>
参加者	<p>責任者はあなたですね。</p>
徳差専門課長	<p>この場の責任は私です。</p>
参加者	<p>徳差さんの判断で強引に打ち切りをしたということになるんでしょう。</p>
参加者	<p>何のために意見交換会やったのよ。</p>
参加者	<p>それともこれ私たちの個人情報を得るためにでもやったんですか。</p>
徳差専門課長	<p>打ち切りというか、意見交換会の形式を変更し、意見交換の場をオープンハウス型の説明会に移行するという事でございますので、それは組織として決定してございます。</p>
今泉課長代理	<p>大変申し訳ございません。10時には、この建物内に人がいれないということでございます。申し訳ございません。この意見が出たことは持ち帰らせて頂きますので、ちょっとその回答の仕方も含めて、持ち帰りさせて頂きたいと思っております。 すみません。結論は、もう一度。</p>
参加者	<p>司会。こちらで最後、まとめてくださっているのです。</p>
参加者	<p>一発でやります。今、最終的には、オープンハウスの提案を、一方的ではあるけどさ</p>

発言者	発言内容
	<p>れました。そのことを拒否するというね。いわゆる意見交換会を何らかの形で続けてほしいと、すりかわりは困るということを挙手しませんか、皆さん。それで終わらせよう、今日。</p>
今泉課長代理	<p>この意見交換会は意思決定の場ではないと捉えておりまして、ただ、こういったたくさんのご意見があったことは持ち帰らせて頂きます。</p>
参加者	<p>意見交換会を続けましょうって言ってるんですよ。</p>
今泉課長代理	<p>そういう意見が出たということ。</p>
参加者	<p>両方やれない理由は何ですか。両方やれない理由は。両方やれない理由を言って下さい。</p>
参加者	<p>それでは、住民側が主催して、都側の人たちを招待しましょう。欠席なら欠席でもいいです。そのことはちゃんとニュースにしましょう。それでどうですか。それだったら都側は出てこなくちゃ。</p>
今泉課長代理	<p>そういうご意見があったということも議事録に残して報告しておきます。</p>
参加者	<p>両方やれない理由は何ですか。</p>
徳差専門課長	<p>両方やれない理由は、先ほど私がちょっと長々とですけれども、申し上げたとおりなんですけれども、いわゆる事業化の是非を問いたいという、皆様の大半ですかね。皆様方と、あるいは整備、いわゆる整備を前提として、我々では、このまま続けていても平行線の状態が続くということで、お互いにとってもメリットがないということでございますので。</p>
参加者	<p>説得をできない訳でしょう。もう説得も放棄した訳ね。平行線でしかない。絶対理解して頂けないというふうに判断したんですか。小金井市民には理解して頂けないと、説明できないと。</p>
徳差専門課長	<p>ですから、好ましいことではないので、オープンハウス型の説明会に意見交換の場を変えていきたいということでございます。私どもとしては、より多くの方々の意見を頂けますし、また、皆さんも是非来て頂ければいいと思いますので、お願いします。そういう形でやっていきたいと思っております。</p>
今泉課長代理	<p>申し訳ございません。本日は、これをもって終了しなければなりません。いいですか。申し訳ございません。本日は誠に申し訳ございませんが、施設の関係で、10時には撤</p>

発言者	発言内容
	<p>収ということが求められておまして、もう、それが既に過ぎ去ろうとしております。じゃ、一言。</p>
徳差専門課長	<p>今、強引に進めないと言ったのを撤回しろということですがけれども、先ほど言ったのは、強引に進めないというのは、強引に事業化を進めないということでございますので、勘違いしないで頂きたいと思います。</p>
参加者	<p>強引に事業化を進めないというのは、どういうことなのか説明して下さい。もう今ここが事業化を進めるということじゃないですか。</p>
徳差専門課長	<p>より丁寧に対応しながら、事業化についても検討していくということでございます。</p>
今泉課長代理	<p>申し訳ございません。次回、この場を開催することは今のところ考えてございませんで、オープンハウス型ですので、またご意見が聞けると思います。是非、そこにご参加頂ければと思います。</p> <p>大変申し訳ございません。これをもって、本日の意見交換会を終了させて頂きたいと思っております。</p>
徳差専門課長	<p>長時間ですがけれども、本当に今日はありがとうございました。</p>